

# 聖徒の道

一九五八年三月十七日第三種郵便物  
認可(毎月一回一日発行)  
第七卷第十号 一九六三年十月一日  
発行

SEITO-NO-MICHI



10 1963

末日聖徒イエス・キリスト教会

**The Seito no Michi**

**Volume 7, October 1963, Number 10**

---

**In this Issue**

---

A Prophet's Voice: The Gospel and the Individual	
..... President David O. McKay	629
President's Message: Repentance—Pathway to Exaltation	
..... President Dwayne N. Andersen	634
Book of Mormon Critics refuted	
..... President Joseph Fielding Smith	638
Essentials in Church History (39)	..... President Joseph Fielding Smith
	641
The Realization of "Kingdom of God" (2)	.....
	660
Aaronic Priesthood: Branch Teaching Lesson (for November)	.....
	653
Church Articles	.....
	664
Genealogy Guide (for November)	
Sanday School Guide for J. S. S. (for November)	
MIA Leader (for November)	
Mission Mother's Message	.....
	675
Relief Society Lessons	.....
	679
Literature—Social Science—Visiting Teacher Message—Wark Meeting	
Mission Headquarters News	.....
	651
Branch News	.....
	647
GOSPEL IN ENGLISH	..... Sister Smith
	691

聖徒の道

第七卷  
第十号

一九六三年十月号

戒めはともしびである。

教は光である。

教訓の懲らしめは

命の道である。

予言者のことば

## 福音と個人

大管長 デビド・O・マツケイ…629

伝道部長メッセージ

ダワエン・N・アンダーセン…634

モルモン経を批評する者たちは言い破られる

一九六二年十月五日の総大会に於ける演説

十二使徒評議員会々長

ジョセフ・フィールディング・スミス長老…638

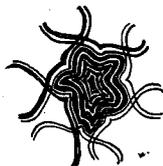
末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹(39)

ジョセフ・フィールディング・スミス…641

神の王国の実現へ(第二回)

支部組織完成への具体的目標…660

MIA全国大会を顧みて…佐藤 襄 二…654



いっぱいのお茶……………ハリソン・T・プライス……………656

アロン神権ブランチ・ティーチング・レッスン 十一月用……………653

系図の道しるべ(十一月用)……………664

子供の日曜学校ガイド(十一月用)……………667

M I A リーダー(十一月用)……………669

伝道部扶助協会長メッセージ……………ペギー・ヒュイシ・アンダーセン……………675

シヨセフ・スミスの生涯……………(扶助協会文学用レッスン)……………679

扶助協会レッスン……………685

伝道本部だより……………651

支部だより……………647

編集部だより……………674

英会話テキスト……………691



今月の表紙

モルモンは、かつて偉大であったニーファイの民に別れをつげた。

参照聖句

モルモン 8:1~3

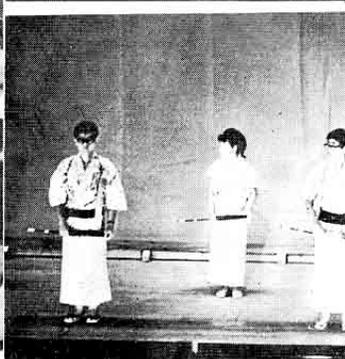


MIA全国大会開かれる

ここに集う若人たち

写真・新井兄弟（東京中央支部）

八月十四日から十七日にわたって「M



I A 全国大会が開かれた。日本の伝道部はじまって以来の全国大会で大いに期待された。

大会は十四日夜の開会式ではじまり、スポーツ、バスビクニック、ダンスパーティー、証詞会、演劇と多彩なプログラムが組まれた。どの会場にも若い人たちが笑顔で集い大変に盛会であった。

強い信仰にもえた若い兄弟姉妹たちが、多くの困難とたたかって出席できたことも、また準備のために毎日汗を流した京浜地区の兄弟姉妹たちがその成果をあげたことも、『我々のささやかな協力が殆んど不可能と思えた大会を立派に成功させたのはそこに何かがあったからだ』(94頁佐藤襄「兄弟の記事参照」)

ノM I A ハイライト

上から京浜地区「余暇の天国」

群馬支部「盆踊り」、西地方部「ピアノ

独奏 秋本姉妹」

↑ゴール・アэнд・グリーン・ボール



えとしました。

また予言者ジョセフ・スミスは、主なる神から下したもうた啓示を通して、「わが永遠の誓約は確立せられ、完全なるわが福音、弱者たち単純なる者たちによって世界のいやはてまでも宣べられ、また王と統治者との前に宣べられんがためなり」(「教義と聖約」一〇二十二—二十三参照)と答えました。

またさらに、神のみわざと御栄えとは「人に不死不滅と永遠の生命とをもたらすなり」という大真理を明らかにしました(「高価なる真理」モーセの書一〇三十九参照)。

これまで長い間、自分の生き方よりも一層高い生き方を得ようとして望んでいた指導者や社会に関心を持っていた人々はいつでも数多くありました。人類の幸福にとってひじょうに大切である良い生活は、昔から人類の問題になっていたのであります。改革が必要であると感づくことはたやすいことであります。実際に改革をなしとげることは、これまでの経験によるとむづかしいことでありまたほとんど不可能に近いくらいであります。人類のうちで最も賢明な人々が提案した理想はしばしば実行不可能であり、また空想的である場合もありましたが、それにもかかわらず、多くの場合一般世間の人々は、当時数々の実験の結果その理想の実行が失敗していても、新しい考えがひろがることによって以前よりもよくなって居ります。

この点において、十九世紀の前半には社会不安の感じがとくにいちじるしく、多くの注意深い人々は社会的経済的の状態に不満をおぼえ、考え深い人々はこの状態を改善するための変化を求めました。たとえば、フランスではフランソワ・マリー・シャルル・フー

リエの空想的な説が世の中にひろまりました。彼は八千年にわたって地球と人類の未来図の大体を画がこうとしたのであります。しかし今日では、彼のあらわした著書を読む人があってもそれはごく少数であります。

その後、とくべつすぐれた手腕と物の真相を見ぬく力とをそなえていた人ロバート・オーエンは、十九才のころ当時の教会に満足することができず、彼らがイエスの単純でわかり易い教えから離れていることを非難し、また彼自身は当時の経済的狀態からも不安をおぼえました。それで自分の所有する財産を力に、ヴィクトリヤ女王の父に当るケント公の信任を得て、千八百二十三年ころアメリカにある新世界へやってまいりました。オーエンはアメリカに来ると、今はインディヤナ州ニューハーモニーになっている所で二万エーカーの土地を買い入れました。そして、自分が理想の社会にしたいと思っている新しい町をつくりましたが、三年たたないうちに二万ドルの財産を失ないオーエンの実験は失敗に終わりました。

それから数年後に、あるユニテリアン派の牧師であるジョージ・リプレイは簡易生活と高尚な思想を組合せた一つの計画を考えつきました。そしてリプレイとその協同者たちとはいわゆる「大実験」の創設者となりました。リプレイの協同者としてはナタニエル・ホーソーンや、後にアメリカの陸軍大臣補佐役になったチャールズ・A・ダナのような有能な人々がありました。しかし、この「大実験」も千八百四十六年に終りを告げました。

私は政府、公共の団体、いろいろの組織などは、もともと個人の権利と個人の幸福と個人の人格の正しい発達を得るために在るといふことをほかの人々と共に信じて居ります。もしもいろいろの組織

がこの目的を達することができないならば、そのときそれらの組織の有益なことはおしまいになるのであります。「自分のにせよ他人のにせよ、人間性をとりあつかうには、どんなときにも単に手段として人間性をとりあつかわないで、目的として人間性をとりあつかうように行動せよ」とカントは言っております。

世界の歴史をながめると、人間というものはいつでも他人の人格を無視し、進歩する機会をときとして人の権利をかえりみない傾向があるものであります。人間の価値は、政府にせよ事業にせよ社会活動にせよ、それがもっている政策もしくは原則が正当であるか不法であるかを判断する良いものさしであります。

過去五十年の間に利用せられたいろいろな学説やイデオロギーは、人類がかつて直面したことのない危険な挑戦を私たちにしているのであります。

今日人類の心と靈に影響を及ぼしている世界の争いを、わが国のあるすぐれた政治家は次のように簡單明瞭に述べて居られます。

「一方において、個人の尊厳と価値とを信じている人々は、靈についても知性についても物質についても、その完全な将来の行く先きをかちとる自由の権利が自分たちにあることを宣言している。また他方においては、個人の価値を否定し、かつけいべつして、各個人を独裁主義国家と厳格なイデオロギーの命令と党組織の無じひな訓練の下におこうとしている人々がならんでいる。

「この根本的な争い、ひじょうに深刻に世界を分割している争いは、他の変化と激動の大波が知性と思慮分別とをよめかすときに起る。国民全体は現在石器時代から直ちに二十世紀へ跳躍しようとしてゐるのだ」(連邦制度の将来)六十一—六十二頁参照。

兄弟諸君、このように現在私たちは、自分の一身上の権利も財産上の権利も実際にすててしまわなくてはならない危険な状態にあるのであります。もしも、このような事実が完全な形で本当に起るならば、それはわが国民にとってははなはだしい悲劇であるにちがひありません。私たちは財産権が人類の自由にとってなくてはならないものであることを認めなくてはなりません。

ユタ州出身の前合衆国最高裁判所判事ジョージ・サザランドは、それを注意深く次のように述べました。

「守られるのは財産権ではなくて財産を得る権利である。財産それ自体はもともと権利はなくて、個人すなわち人間が、任意の干渉がひとしく侵すことのできない三つの大きな権利をもっている。それはすなわち生きるための権利、自由を得るための権利、および財産を得るための権利である。この三つの権利は本来一つの権利であるほど固く結びついているから、もしも命を与えて自由を与えないなら、彼から生きる価値のあるすべてを奪うのである。もしも、自由を与えて自由の果実であるしるである財産を奪うなら、なおかつ彼を奴隷のままにしておくのである(一九二二年二月廿一日ニューヨーク弁護士協会で言ったジョージ・サザランドの演説より)。

私たちを現世の誓約によってむすんでいるのは立憲制度の原則であります。一時的には専政制度の要求するところと同じに見えていても、その原則は永久不変であります。専政制度の原則とは、人間はもともと救うことのできない利己主義である、従つて自分で自分を正しく管理することができないという主張であつて、この考えは人々は正しい原則を教わつて、それから自分で正しく管理すべきで

あるという予言者ジョセフ・スミスの宣言を真向からとびこす考えであります。この宣言に対し独裁主義は、人民というものは、個人もしくは転覆や即座の流血によって権力をにぎった党によって支配されなければならないと主張いたします。さらに、人民は保証や権利がないと宣言し、この社会制度の存在するのは支配統治する暴君の思いつきの計画があればこそであると主張します。

私たちの国を創設した先祖の人々は、いくらかのおそれは当然あつても、合衆国憲法の発布を自分たちの最も大きな勝利であるとはつきり認めました。

千九百五十五年六月十二日に、アメリカ駐在のオーストラリア大使サー・パーシー・スペンダーは、ニューヨーク州シエネクタデいのユニオン大学で名誉法学博士を贈られたとき一席の演説を述べました。私は現在行なわれているいろいろな努力について大使の述べられたことと意見を同じくするので次にその演説の一部を引用いたします。

「今日、政治上の自由と経済上の自由と個人の自由とは、地球の大部分にわたって、亡ぼされてしまっているかまたは現に亡ぼされている途上にあります。しかもそれは自由の名によって亡ぼされてしまったか、または現に亡ぼされているのであります。人間の知性を維持しようとする巨大な闘争は今現に行なわれて居ります。これはあなたがた一人一人が全心をささげて参加していただきたいとのねがっている闘争でありまして、この闘争によって、真理は真理をいささかも認めない人々のために亡ぼされてしまうのであります。政治的自由、行動の自由、民主主義など、私たちにとつてひじょうにたいせつな言葉はみな、これら政治的自由、行動の自

由、民主主義を亡ぼす敵によってうばい取られ濫用されています。一点の仮借もしない弁証法的闘争が、現在キリスト教徒の生き方に對し、政治上の自由に對し、個人の自由に對して行なわれて居り、しかも自由の名のも行なわれているのであります。それによって白を黒と、専制政治を自由な政治と、強制労働キャンプを行動の自由と、奴隸國家を自由國家と言いくろめて居ります。これはすべて「共產主義理論」のはなはだしい挑戦であります。そしてこの挑戦をするに當つて、現在いわゆる自由國家の中でも正当であるとして居る人が多くありますが、人間は経済上の存在であることを強調する人々、人間を化学的な存在であるとし環境から偶然に生れたものであると説明する人々、人間を「物体」のようにとりあつかう人々、これらの人々は各々私たちの自由國家が依つて立つところの政治上の制度の破壊に力を借して促進し、また知ると知らぬにかかわらず「國際共產主義理論」の弁証法と目的とを支持して居ります」。

イエスはいつも個人の福祉をねがっておいでになります。それで、福音の原則に従つて、全体の福祉のために団体となつて働らく個人たちによって「神の國」が造られて居ります。イエスがまだこの地球上においてになりました当時、福音の中にある多くのすぐれた真理が、一人一人との会話のとき、イエスから授けられました。バプテスマと「再び生れる」ことについてイエスの御ことばが授けられたのは、イエスがニコデモと話し合つておいでになつたときであります。サマリヤの女とイエスとの会話から、私たちは「神を礼拝する者は靈とまことを以て礼拝しなくてはならない」という真理を明らかにしました。また私たちは、イエスがマリヤとマルタの二

人となさった会話から「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信する者は、たとい死んでも生きる。」(ヨハネによる福音書十一〇二十五)という神のはっきりしたみことばを聞くのであります。

イエスは最も高く私たちの人格を認めてくださったお方ではありませんか。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとって個人の価値はとくべつの意味があります。定員会も補助組織もワード部もステーク部も、さては教会自身さえもみな人類の福祉を促進するために組織されて居ります。これらのすべては一つの目的を達するための手段にすぎません。そして、その目的とはほかでもなく神の子一人一人すべてが幸福と永遠の価値とを得ることでありませぬ。

ワード部、定員会、補助組織、そのほかの組織を頭に入れて、私は、キリストの所へ人をみちびく三つの重なる手段を提案いたします。これらの三つの条件とは第一に、教会員はのこらず教会内の組織に登録する。第二に、個人的に近づきとなる。第三に団体として奉仕を行なう、ということでありませぬ。

以上三つの計画もしくは条件は、すでに私たちの教会で実際に行なっていることでありますが、これらがよく運営されていないならば、各々が立てた目的を達するために効果が少ないにちがいありません。

各組織は各々その組織に属している人をみな登録しなければなりません。また単に登録をするだけでなく、各会員がどのような状態で生活しているかを個人的に近づきによって知らなくてはなりません。また知るだけでは充分でなく、訪問をするだけでは充分で

ありません。人は男女を問わず、福音を実際にふみ行なわなければ福音の原則と教義に熱心になることができないからであります。

「神のみこころを行なおうと思う者であれば、だれでもわたしの語っているこの教えが神からのものか、それともわたし自身から出たものかわかるであろう」(ヨハネによる福音書七〇十七)。

もしもワード部、ステーク部および補助組織に属する何十万という役員と教師の一人一人が、またもし何十万という神権者の一人一人が、一人の人の生活を高めるために影響を与え、一生を通じて福音のために働らくことができて「ただ一人の人たりともわれに導びかば」、「わが御父の国において彼と共に汝らの悦びいかにばかりぞや」と主イエスは言っておいでになります(「教義と聖約」十八〇十五参照)。

今日多くの国はその独立を失って居ります。そして負けた国の人民はその征服者のために働らくことを強制され、財産は無償でさしおさえられ、無数の人々は個人の自由を保証するあらゆる保証を放棄して居ります。

しかし力と強制はけつして理想の社会をつくらないのが常であります。理想の社会は個人の心の内におこる変化、すなわち罪からあがなわれ、神のみこころに従うようになった生活によってのみ立てることができるのであります。人々は人類の悪を減らすために、利己主義であるかわりに自分の能力と持ち物と生活を喜んでささげなくてはなりません。また必要ならば、自分の財産も名誉も喜んでささげなくてはなりません。にくしみは同情と忍耐にかわらなくてはなりません。平和とまことの繁栄は、イエス・キリストの福音

## 伝道部長メッセージ

### 「悔改め——日の栄の国に至る道」

悔改めをする必要があることがわかるために、私たちはまず人生最大の疑問「私はどこから来たのか」、私はどうしてここに居るのか、「私はどこへ行くか」という疑問に対する答えを知らなければなりません。これらの疑問に対する答えは先月号にのせた「救いの計画」の記事の中で論じました。この記事を読んで私たちは、人が律法と秩序の支配する宇宙に住んでいることを真に認めるにちがいありません。私たちは律法を破ればいつでも罰を受け、律法に従う度にその律法にともなう祝福を受けます（教義と聖約）百三十〇二十一—二十一参照。不服従もしくは怠慢であればいつも争いと罰とを生じます。悔改めとはこの争いと罰から私たちを免かれさせ、服従の法則にともなうすばらしい祝福を受ける位置



伝道部長

ダウエン・N・アンダーセン

に私たちを置くために従わなければならない手段にすぎません。「主は言われる。さあ、われわれは互いに論じよう。たとえあなたがたの罰は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のようになくても羊の毛のようになるのだ」（イザヤ書一〇十八）。イエス・キリストの使命の一つはアダムの罪をあなたがたがなうことでありました。もう一つの大きな使命は私たち一人一人の罪をあなたがたがなうこととでありました。もしも私たちが自分の罪を悔い改めさせれば、イエス・キリストはその重荷を背負って、私たちの犯したすべての罪に対する正義を満足させて下さいます。このすばらしい原則についてちょっと考えてみて下さい。もしも私たちが自分の罪を悔い改めさせれば、私たちは自分の犯した罰の重荷から解放されて清くなるのです。「見よ、およそすでにその罪を悔い改めたる者は赦さ



もっている観念によって考え、行動し、また自分のやり方を感じるのであります。そして、私たち一人一人は、独りでもっている観念を支配する二つの意識をもっています。それはすなわち自覚している意識と、自覚していない意識すなわち潜在意識の二つであります。そして、自覚している意識は私たちの行動と感じの七分の一を支配し、潜在意識がのこりの七分の六を支配するのであります。

潜在意識の中には記憶や習慣という心像がひじょうにたくさんたくわえられています。私たちの意識の内部には一種の「回転木馬」に似た回転がたえず行なわれていて、人が意識的に把握してはつきり信じた考えは潜在意識に根をおろし、自覚している意識の世界へ頭の中にいろいろな心像を画く案内として、あとからまた投射されてくるのであります。もしもある人が神の律法を破る悪の力に動かされるとすると、それはその人がこのくわだてをすでに潜在意識の世界でつくっていたからであります。この状態はその人が潜在意識の中にある悪の影響を、キリストのような正しいいろいろな心像によっておきかえるまでけっしてかわりません。潜在意識の世界にある根本的ないろいろな心像を、消極的な悪の姿から積極的な正しい姿に変えるためには、人が従がわなくてはならない或る段階があります。

第一段階。今あなたの将来を詳細に計画しはじめなさい。そしてあなたの目標をきめなさい。あなたが何になりたいかをきめ、また天においてどの栄の国に入りたいかをきめなさい。あなたが目標に達するために必要とすることをしるしなさい。そして自分がしたいと思うことをいつも意識しているように、毎日あなたの目標

を万遍なく読みなさい。

第二段階。あなたは、自分はしあわせであるという意識をつくらなくてはなりません。あなたは楽しいと思つているときに、どれほど多くのことをやりとげることができたか気づいたことがありますか。しあわせであると思つている状態くらい善いことができる状態はほかにありません。しあわせとは単に心の状態であります。あなたの心の中にあらゆる幸福がみなあるのです。自分はいしあわせであると決心しなさい。

第三段階。消極的な思想と会話とを避けなさい。消極的な思想は気を入らせ事がだめになる傾向があります。一方、積極的な思想は精神を高揚させて、人を強くし進歩させます。

第四段階。毎日なほどこかの進歩があるように気をつけなさい。このようにして、潜在意識の世界の姿を徐々に変えて行けば、あなたが自分の頭にもっている心像は大いに改善されるのです。たえず自分に「私はできる、私はできる」と言いきかせなさい。あなたは自分の思っている通りになるのです。もしもあなたが「自分でできる」と思うなら「実際にできる」のです。あなたは、あなたの考えを支配しなければなりません。

いつ私たちすべては、自分のふるまいを変え始めるでしょうか。いつ私たちは、神が見てお喜びにならない私たちの仕わざを悔い改め始めるでしょうか。ニーファイ人の予言者であるアミュレクは私たちに良い解答をしてくれました。

「現世は人間が神に逢う用意をしなくてはならぬ時期である。現世の生涯は、人間が各々働きを遂行せねばならぬ時期である。私が

前にあなたたちに話したように、あなたたちに証を立てた人々は非常に多いので、私はあなたたちがこの世を去る時まで悔改めが引き延さないようにねんごろにすすめる。永遠の来世に行く準備ができるように私たちに与えられている現世の生涯の光陰を有益に用いなかつたならば、後から夜のような暗やみの生涯がやってきて、そこへ入ったら何の働らきもできるはずがない。あなたたちはこの恐ろしい危機におち入ってから「私は悔い改めて私の神に立ち帰る」と言うことはできない。あなたたちは本当にこう言うことはできない。なぜならば、あなたたちがこの世を去るときあなたたちの肉体を離れる霊は、永遠の来世に於て再びあなたたちの身体に宿る力を持つているからである。あなたたちが、もしも悔改めを引き延して死んでしまうならば、すでに悪魔に従ったのであるから、悪魔はあなたたちに自分の部下という証印をおす。従つて主の「みたま」はもはやあなたたちから離れて再びあなたたちに宿らず、ここに於て悪魔は全くあなたたちを支配する権能を得る。これはすなわち悪人の最後の境涯である」(モルモン経、アルマ書三十四〇三十二—三十五)。

天にまします慈悲深い親切な父なる神は、私たちが父なる神の前にまた帰つて行ける準備ができるように悔改めの律法をお定めになりました。悔改めは全人類に開放されているすばらしい扉でありますが、悔改めの真の意義は回復されたイエス・キリストの福音によってだけ理解されるのであります。

悔改めに関連して私たちの実行しなくてはならない大切な原則は赦してあります。「この故にわれ汝らに告ぐ、汝ら互いに赦し合うべきなり。そは、人その兄弟の過ちを赦さざれば、その人主の前に罪に値する故にして、そは更に大いなる罪なお彼に在ればなり」(「教義と聖約」六十四〇九—十)。私たちはほかの人々を赦すばかりでなく、もし私たちがまちがいをして悔い改めたときに自分自身を赦すことができなくてはなりません。

以上は私たちの生活に目的と方向とを与えるうるわしいことであります。私たちはこれらの偉大な救いの原理をもつと十分に理解するように努めなくてはなりません。終りにのぞんで、私はブリガム・ヤング大管長が大平原を横ぎつて旅をしているときに言ったことばを申したいと思います。そのことばは、私たちがイエス・キリストの福音の本当の意味と、それが私たちの生活に愛と一致と本当の喜びを与えることができることを真に認める助けとなります。

「イエス・キリストの福音は、善良な人をしばつてその人から自身の権利や特権を奪うものではない。また彼の労働の結果を受けることを奪うものではない。彼の祝福を奪うものではない。彼の増強することをとめない。彼の王国を小さくしない。かえつて、彼の心も彼の王国も広げるように計画してある。彼に特権と能力と名譽と昇栄と、彼が一生涯その心に正しく望むことのできるすべてのものと与えるように計画してある。それから、彼が永遠の世界へ昇るとき、彼はそれまで通りあたりを見まわして言うことができる『神を愛して仕える者たちに与えるために、神が貯えておいてなる光榮とはまれと数々の祝福の本当の意味は、人間の心にはまだ把握されていないのだ』と。

# モルモン経を批評する者たちは言い破られる



十二使徒評議員会々長

ジョセフ・フィールドینگ・スミス長老

私の最も愛する兄弟姉妹よ。私は、たしかに主のみたまがこれから私の言うことに導きをお与えになると思ってお話をします。私は、神権を持って居られる兄弟たちならびに教会の姉妹たちに、もう少し時間を費やして教会の標準聖典とくにモルモン経を勉三し研究していただきたいとおねがいをしています。

私たちはつい先だって、神権者たちがモルモン経を読む運動を良

開いたしました。私たちが、モルモン経はどこから世に出たか、またどのようにして世に出たかという歴史を知るとき、わが教会の会員は、モルモン経を始めから終りまで一度だけでなく何度も何度も読まなければ一人も満足して眠れないように見受けました。

さて、世の中には彼らの攻撃を主としてモルモン経に集中している宗教団体がいくつかあります。そして、これらの団体の会員は、

私たちの教会の会員の家へ入ってきて、初版のモルモン経にある誤まりとか、変更とか追加とかと自分たちで考えているところを指摘しています。もしもだれかが本を出版したとしますと、本が印刷されるとすぐにその人の顔をにらみつけるようにしている最初のものは、だれにもわかる誤植であるということを出版した者はよく知っています。私たちは、始めに予告者スミスが訂正した誤りがなかったと主張したことはありません。あることはあつてもそれはきわめて少数でありました。しかし、これらの不平もしくは批難が、発表されている書物に対して行なわれているので、私はかぎられている時間内にそれらの言いがかりの中の二つについて言いたいと思います。

私の机の上には今一通の手紙がありますが、その手紙を書いた人は前に申したような人たちと話をしたときに、モルモン経は神の御子の誕生について本当のことを言っていない、モルモン経には救い主が彼らの先祖の地であるエルサレムでお生まれるになる、とはっきり言つてあると言われて、ひじょうにこまっているようでありませぬ。ところでモルモン経にはすこしもこのようなことが述べてありません。今そここのところを読んでみましょう。

アルマは神の御子の降臨について「神の御子は私たちの先祖の地であるエルサレムのあたりでマリヤから生まれたもう」(アルマ書七〇十参照)と言つております。さて、もしもアルマがこのところ「先祖の地」と言わずに「先祖の町」と言つたなら、その意味がちがつて居たことでしょうか。そうではないでしょうか。ところで、エルサレムが首都である、エルサレムの地方で主イエスはお生まれになったのではないですか。アルマは、主イエスは「エルサレム

の町」でお生まれになるとは言わずに、エルサレムが首都である「エルサレムのあたり」でお生まれになると言っています。しかし、あの人たちはこのことからたたくさんのことをこしらえているので、教会員の中には自分で弁護ができない方があるようでありませぬ。さて「何々の地」ということは必ずしも「何々の町」という意味ではありません。モルモン経には、はっきりと「先祖の地であるエルサレムのあたり」としてあつて「先祖の町であるエルサレムの中で」とは言つてありませんから、何ら間違ひではありません。この問題はこれだけにおきましよう。

私がこれから申し上げたいと思つているほかの批難は、アビナダイのことはであり、そのほかのところでも同じ様に言つてある「イエス・キリストは父にもなりまた子にもなりたもう」ということばについてであります。

「さて、アビナダイはなおかれらに言つた『私はあなたらに悟つてほしいことがある。』すなわち、神は親しく世の人の中に降臨してその民を贖いたもう。そしてこの神は肉体に宿りたもうから神の御子と呼ばれたもう。またその肉体を父のみこころに従がわせたもうから、父にしてまた子である。神の力で胎内に宿りたもうたから父であり、肉体を持ちたもうから子である。このように父にもなり、また子にも成りたもう」(モーサヤ書十五〇一三)。

この聖句のどこが悪いでしょうか。「父」とは何でしょうか。「子を生ずる者もしくは子に生命を与える者を父と言います」ところで、私たちの救い主は何をなさいましたか。救い主は私たちを死から救つて生命を与えて下さいました。すなわちニーファイの兄弟であるヤコブのはっきり言つている通りであります。もしも私たち

の救い主であるイエス・キリストの死がなかったなら、人間の霊と肉体とはけっして再び結び合うことはなかったでしょう。私たちは死を避けることができなかつたでしょう。死からあがなわれなかつたなら、私たちの霊は再びサタンにとらわれて永久にサタンに使われるものとなつたでありましょう。

私たちの救い主は何をなさいましたか。救い主は前に申した意味で私たちをお生みになりました。救い主は、十字架の上のぎせいの死によって私たちに不死不滅と永遠の生命とをくださいましたから、私たちの父となられました。私たちは救い主を父と呼ぶ完全な権利を持つています。

モーサヤ王は臣下の者たちに、キリストの御名をその身に引き受けるという誓約をさせました。しかし、これはキリストがお生まれになる百二十四年前のことです。今私はこの時の誓約を一二節読みたいと思います。「お前たちの結んだ誓約のためにお前たちはキリストの子と呼ばれ、キリストの息子や娘と呼ばれる。それは今日キリストがお前たちの精神を新に生みたまうたからである。お前たちはキリストの御名を信ずるから自分の心が改まつたと言う。従つて、お前たちはキリストにより生まれその息子や娘となつた」(モーサヤ書五〇七)。

今私たちが、イエス・キリストを私たちの精神の父と呼んだら何かわるいところがあるでしょうか。

「お前たちはキリストという頭の下にあつて自由を得た。このほかには、どこにもお前たちを自由にすることのできる頭はなく、救いを与える名前はなし。それであるから、私は生涯の終りまで従順でなくてはならない誓約を神と結んだお前たちが喜んでキリストの

御名を引き受けるように望む。この通りする者はだれでもみな神の右に居り、どのような名で呼ばれるか知つていようである。それはかれがキリストの御名で呼ばれるからである。まただれでもみな喜んでキリストの御名を引き受けない者は、ほかの名で呼ばれる。従つて、かれは神の左に居るのである」(モーサヤ書五〇八—十)。

「神の御子」は私たちを、その精神を生んだ「自分の子ら」と呼ぶ完全な権利を持ちたまう。それであるから、私たちは「神の御子」を自分たちの精神を生みたまうた父としてあがめる完全な権利をもつてあります。

さてもし、あの批評者たちがモルモン経を注意して読むならば、彼らは救い主が西大陸へ来てニーファイ人を訪ねたもうたとき、救い主が彼らに自分は父なる神からつかわされたとお言いになったことを知るであります。また救い主は彼らの前でひざまずき、父なる神に祈りをおささげになりました。また彼らに父なる神に祈る正しい祈りをお教えになりました。しかし、それは、私たちが神の子イエスを、私たちの精神を生みたまうた故に父としてあがめる義務と責任とをいささかも減ずるものではありません。主なる神があなたがたをめぐみたまはんことを、イエス・キリストの御名によつてお祈りいたします。アーメン。

(千九百六十二年十月五日の総大会における演説より)。



## 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史料

39

### 第三部 オハイオおよびミズーリ時代

#### 第二十三章 大管長会ミズーリへ移る

(千八百三十八年)

十七、カートランドの陣営。聖徒たちをミズーリへ移すことを考慮するために、千八百三十八年三月六日カートランドに居た全「七十人」の集会在神殿の中で開かれた。そしてこの件を処理することが管長会に任されたので、同月の十日にまた集会在催おされた。この集会で管長会は報告を行なったが、その中で、当時聖徒たちは甚だしく貧しかったので国体を作って旅行するには疑問があると述べた。これより前、高等評議員会と大祭司たちが財源を得て聖徒を移そうとする努力が失敗に終わったので、「七十人」たちはこの度の旅行は一人一人で旅をする方がおそらくよいであろうと思っていた。しかしながら、彼らがこの集りを開いているうちに「主のみたま」が彼らに降りたもうて、彼らは誠命と啓示に従い道々テントを張りながらシオンへおもむく一団となって旅をせよ、そうするならば旅行中何事にも不自由をさせぬというみこころがわかった。

そこでこの行動をとることが決定され、この旅行中に彼らをとりにしめる規約がハイラム・スミス副管長監督のもとに作成され採用された。彼らは七人の会長の指図を受けて旅行をする事になったが、指揮をする便宜のために中隊と分隊に組織された。そして千八百三十八年七月の六日に旅行が開始された。この陣営の中には百五の家族に属する男二百五十六名、女二百七十三名合せて五百二十

九名の人々が居た。このほか旅行中に陣営に加わった者が数名あった。このようにして、これらの苦しめられた聖徒たちは行程約九百マイルにおよぶ最も著名な移住に着手したのであった。主なる神はこの旅の途中彼らを豊かにめぐみたまうた。彼らの食糧は、かのやもめの食事や油つばのように少しもへることなく旅行中奇蹟的に供給された。すでに予期されていたように、この旅行隊の中には不平を述べた者もあった、そして規則を破つたために陣営から除名され単独で旅行した少数の者もあったが、大多数の者はけんそんに服従をして旅をつづけた。旅行中二・三人の者が死亡し陣営の人々を悲しませたが、陣営の中には通りがかりの入植地の人々の中に働らき口を見つけて働らいた者もあり、このようにして旅行中陣営の人々を助けるための財源が得られた。この大きき旅行につきもののいろいろな試練や苦しみを耐えしのいだ後、彼らは千八百三十八年十月二日その目的地であるファーウエストに到着した。

そして、彼らの兄弟たちから嬉しいあいさつを受けた。十月三日、彼らはさらに足をのばして、アンブロージアル・クリークに着き、十月四日の日没近くにアダム・オンダイ・アーマンの公衆広場にそのテントを張つた。このようにして、カートランドから来た聖徒たちとそこにあらばつた聖徒たちとはミズーリの入植地に集り始めたが、彼らの平和と幸福とはこの先長くおだやかにつづかなかつた。暴民政治の險悪な暗雲がすでに空を覆いつつあったからである。

## 第二十四章 ミズーリにおける難局——

### ボッグス知事の「撲滅令」

(千八百三十八年)

千八百三十八年八月六日、ミズーリ州ガビース郡がラティンで選挙が行なわれたとき、それまでくすぶっていた「モルモン教徒」とミズーリ人との間の敵意が爆発した。そしてこれがミズーリ州から末日聖徒を追放する結果となる焰の燃え始めであった。

聖徒たちはすでに二週間前に、州議員に立候補したモリン判事から「モルモン教徒」の投票をさまたげる計画があると注意されていたが、その時までには事態が好転するであろうと思つて、この注意をほとんど気にかけて居なかつた。ところが、選挙の当日十人あまりの兄弟たちが投票場へ近づくと、以前にクレイ郡で暴民をひきいて聖徒を襲つたことがあるウイリヤム・P・ペンストン大佐は樽の上に乗り、「モルモン教徒」に反対する目的で集めておいた群集に熱弁をふるつた。彼は、モルモンの指導者はいろいろな悪質の犯罪をおかしていると言つて批難し、会員たちを「いつわりの誓いを立てるには善良すぎるむく鳥」と呼び、「彼らはよく盗みをする。だから彼らの居るところではどこでも財産が安全であるとは考えられない。彼らがデビース郡に落ちつくことは反対である。もし郡の人々が彼らの投票をゆるせば間もなく選挙権を失なうにちがいない」と言つた。ペンストンはこのとき立法部の議員に立候補していたが「モルモン教徒」が自分に投票するはずがないことを知つていたので、「モルモン教徒」の投票を力づくで妨害しようと決意した。

その結果は、計画的な襲撃がモルモンの投票者の小さな群に加えられたことであつた。これらのモルモンは総勢十二人であつたが百人以上の敵に対して一歩もゆずらなかつた。この争闘で多くの者が頭を割られた。ジョン・L・パトラー長老は正義の怒りに満たされ、こん棒をとつて敵を右に左になぎ倒した。動揺した暴徒たちは今にどうするか見て居れ鉄砲をもつて戻つてくると口々に叫んだ。その場に居た選挙の役員たちは、これはあらかじめ計画した攻撃であつて敵は騒ぎを起すことを充分承知の上で来ているのであるから、これ以上争いを起さないために立ち去つてもらいたいと兄弟たちを説得した。モルモンの兄弟たちは各自の家へ帰り、家族の者を集め森の茂みにかくして自分たちは一晚中家を守つて立っていた。

十八、予言者の調査。 その翌日、きのうの争いで二・三人の兄弟が殺されたがミズーリ人はその遺体を移して埋葬することを拒んでいふというしらせがファウエストへ入つたので、ジョセフ・スミスそのほか約十五人の兄弟たちは武装をしてガラティンへ出発した。そしてライマン・ウィツ大佐の家で事件の真相を知つたのであつた。八月八日、何人かの兄弟たちはデビース郡選出の判事である治安判事アダム・ブラックの宅をおとすれ、しばし会話を交じえたが、その中で兄弟たちは判事にあなたは私たちの敵か味方かとたずねた。判事は「モルモン教徒」に対してひどいことをいふ言つていたうちに、自分は暴徒に同情してないから彼らにけつして力を借すようなことはしないと断つた。そこで今言つたことを文書にしてもらいたいと言つと、早速受け合つて次のようなめづらしい文書をしたためた。

「本官デビース郡治安判事アダム・ブラックはモルモンと呼ぶ人

々に対し次のことをここに保証す。すなわち、余は本州およびアメリカ合衆国の憲法を支持すべき義務を有する故に、現在いかなる暴徒にもついて居らず、または将来もかくの如き人々につく意志なし、而して彼らが余をなやまさざるかぎり余も彼らをなやまさざるべし。

千八百三十八年八月八日

アダム・ブラック

### 三、ペンストンの口供書。

モルモンの兄弟たちがアダム・ブラックと会見した二日後に、ウイリヤム・P・ペンストン、ウイリヤム・ポーマンそのほかの者たちはオースティン・A・キング判事の前で宣誓して供述を行ない、次のように述べた。すなわち、約五百人におよぶ「モルモン教徒」が武装をしてデビース郡に集つてゐる。その目的とするところは、市民たちに甚しい暴力を加えて彼らの友人が受けたもしくは受けたと想像してゐる損害に対して復讐し、その上元から居る市民をおどしてことごとく郡内から追い出し、市民の所有する土地をとりあげ、もしくは土地を去らない者たちを強制して彼らの命令に従がわせ彼らの命令に服従させることである。われわれはたしかにそうだと信じていると言ひ、また、約百二十人の男たちがアダム・ブラックに暴力をふるつた「彼らはブラックの家をとりかこんで、彼を荒々しくつかまえ、すぐさま殺すとおどして、ひじょうに不面目なことを書いた書類にやむをえず署名をさせ、かようにしてひじょうな侮辱を与えた」と言つた。

千八百三十八年八月二十八日、アダム・ブラックもまたこれと同じような宣誓供述を行ない、このようにして悪意のある裏切りをし兄弟たちと結んだ約束を破つた。

註。これらの非難に対する予言者の答えは「教会記録歴史」第三

卷、七十頁を参照されたい。

四、これらの偽りの効果。これら悪魔の使者たちは、「モルモン教徒」が暴力をふるったということに対してきわめて敏感なミズーリ人をふるい立たせるにちがいない彼らの偽りの効果をよく知っていた。彼らはまた、表面だけの理由によって州の役人たちの同情、とくにリルバーン・W・ボッグス知事の同情を得ることができると思っていた。事実、知事がひそかに彼らを助けていないということにはっきりしていなかった。ボッグス知事は、かつて自分がひじょうに目立った役割を演じてジャクソン郡から聖徒たちを追放したあの恥すべき行為があつてから、州の最高の役に選ばれていたのであつた。

五、暴徒たちの集合。これらの悪質な報道は間もなくほかの多くの郡にもくまなくひろがり、人々は「モルモン教徒」が州のほかの場所でも元から居る市民に対して暴力をふるう準備をしているといううわさを度々聞いた。また乱暴な行ないに対して教会員を刺戟するようなありとあらゆる計画が採用された。教会の敵はとりこを捕えてこれを罰し、それから「モルモン教徒」の入植地の中に、これらのとりこはごうもんにかけて殺されたといううわさを流した。このようにして彼らは、「モルモン教徒」は必ず復讐をするにちがいない、そうすれば彼らは侵略者になるのだとして、聖徒たちが怒って立ち上ることを望んだ。しかし、主なる神は、聖徒たちに反する敵の悪い意図をあばいて知らせたもうた。

六、ジョセフ・スミスとライマン・ワイト捕えられる。ペンストン、ブラックそのほかの者たちの偽りの口述にもとずいて、ジョセフ・スミスとライマン・ワイトに告訴が提起された。始め二人は

令状の発行されたデビース郡で裁判を受けることに反対をした。デビース郡の市民の敵意がはなはだしかったからである。しかし、二人は味方の弁護士アッチソンとドニファンの兩人と相談をした結果自発的にオースチン・A・キング判事の前に出てデビース郡で裁判を受けることにした。ところが裁判が開かれてみると、彼らに反対する証人として出たのはアダム・ブラック一人であり、起訴した者はウイリヤム・P・ペンストンであつた。非教会員と教員員の両方から数人の証人が出て二人の弁護をしたが、毒々しい心をあらわした判事は、偽証をしたと言うので五百ドルの罰金を課した。裁判を終るに当って、判事は証人の何人かに対し、自分が判決を下す充分の根拠となる証拠は何もないことを認めしたが、人々は判事の判決を要求した。

七、ボッグス知事の布告。これらのうわさと偽りの供述とは、当然そうなると思つてそれらをつくつた本人である知事の耳へとどいた。そこで知事は「モルモン教徒」がインディヤンと同盟して反乱を起したという口実のもとに、高級副官ビー・M・ライルを通してアチソン將軍そのほかに六人の民兵指揮官に「予防所置」として、インディヤンもしくは「モルモン教徒」のいずれが蜂起するもそれにすぐさま対応できるよう有効な兵力の民兵を保持せよという命令を発した。この部隊は馬に乗り、歩兵もしくはライフル銃兵の装備をほどこした七つの分隊から成り、各々の分隊は四百人の兵をもつていた。そして、国法に従つて中隊に編制され合計二千七百人の兵員がこれに属していた。

このように人々が興奮の渦にまぎこまれてる間に、暴徒の軍隊は方々の地点で集合し聖徒をおびやかしていた。文宮当局の命によ

つて、州民兵であった兄弟たちの何人かが、暴徒たちの野営陣地へ行く途中の武器弾薬をつんだ一台の車をおさえた。ファウエストから来たこれらの兄弟たちは銃と軍需品を取り、輸送担当者と思われる三人の男を捕えてファウエストまでつれてきた。ファウエストで、これらの男は治安判事アルバート・ペティの前に引き出されて取りしらべを受けたが、次に巡廻裁判が開かれるときに出頭をするよう保釈を許された。キング判事はこの判決を知らされて、囚人をすみやかに釈放し親切にとりあつかうべきであると答えた。銃についてどのような処分を為すべきか彼は知らなかったらしいが、それらは民兵のものであると言った。判事がこう言ったので兄弟たちは銃をとっておいて分配したが、後になってドニファン將軍の命令により銃を集めて將軍にひき渡した。

#### 八、ダイアーマンにおけるオースチン揮下の暴兵。 偽わりの非難が相かわらずひろがって、ひじょうな興奮が四方八方にあらわれた。そして民兵は、ボッグス知事の命令に従って軍務につくべく集っていた。その下士官兵の中には聖徒たちにとって最も烈しい敵が大勢いた。ダイアーマンの近くには大部隊の暴兵が武装をし殺気を帯びてダクター・オースチンの指揮下に集合していた。それを見て、同数の民兵を指揮していたドニファン將軍は解散を命じたが、

彼らは自衛のために集ったのであると主張し、なおダイアーマンにある「モルモン教徒」の小さな入植地を包囲していた。一方州民兵の大佐であったライマン・ワイトは聖徒を守ることでできるほどの兵力を集めていた。そして、ドニファン將軍の要求に接して自ら進んで解散させるが、オースチン揮下の兵も同じく解散してほしいと言った。ところが、オースチン揮下の兵が解散を拒絶したので、ド

ニファン將軍は数日のうちに彼らの解隊することを望んで暴兵とダイアーマンに居る人々との間に陣をとった。

#### 九、デ・ウィットの包囲。 オースチンは、ダイアーマンを破壊する目的が失敗に帰したことを知ると「モルモン教徒」を追い出す決意をしてキャロル郡のデ・ウィットに彼の兵を移動した。デ・ウィットの市民はこれを見て全力を尽して防禦をしようとしたので、

オースチンは町を包囲し、時々市民に銃火をあびせて、市民を一人のこらず亡ぼしてしまいかまちは州から立ちのかせると言っておどした。そのうちにアチソンとドニファンの両者も、この事態を調査するために来ていたチャリントン郡からの市民委員会も、「モルモン教徒」がひじょうに驚ろいて、この劣勢な戦いに全く守備の側に立っていると言事報告をした。アチソン將軍はさらに知事に手紙を書いて「その郡ではうわさが示すほど事態は悪化していかない。それであるから実際は、閣下がたくらみがあるかそうでなければなかば頭のおかしい人々の陳述にあやまられたのであると、私はいろいろな口述書によって疑わない。われわれは「モルモン教徒」のために驚かされる理由は少しもない。彼らはおおるべき民ではない、ひじょうに驚ろいているのは彼らである」と言った。知事がこれらの報告を受けとったとき、知事は大いに得意顔をして「このけんかはモルモンと暴徒との間のけんかであるから、彼ら同志でてつて的にやるがよい」と答えた。それにもかかわらず、知事は「モルモン教徒」がどこまでも戦って自分たちの適法な憲法の保証する権利を維持し、このような圧倒的な不平等に対抗することを決意していることを知るや烈火の如くいきどおった。それは後から起るいろいろな出来事が証明するようになる。

## 十、デ・ウィットの防衛。

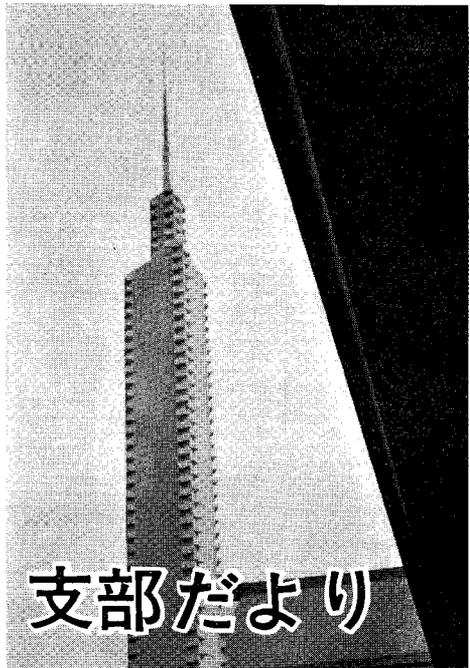
州の民兵を指揮する職権を委ねられていたジョージ・M・ヒンクル中佐の指揮下にあったデ・ウィットの聖徒たちの兵は、正当な理由もしくは彼らを怒らせた原因もないのにおそってきた敵に対し、自らを防衛する準備をした。ダクタール・オースチンの指揮する暴徒の兵は、あらゆる法律を無視して千八百三十八年の九月二十一日までデ・ウィットをおびやかし、その住民に十月一日までにその土地から出て行け、もしもその時までに出て行かないときには「考若男女を問わず」みなごろしにすると書いた。そこで翌日デ・ウィットの市民は、暴民の手から救い出してもらいたいとボッグス知事に請願をしたが、知事は聖徒からのあらゆる訴えをどき吹く風と聞き流し、ただ「モルモン教徒」にとつて敵の人々のことばにだけ気をつけているようであった。デ・ウィットの囲みはパークス將軍とボガート大尉のひきいる州の軍隊が居る前で十月の十一日までつづけられた。ボガート大尉はメソヂストの牧師であったが、ただながめておられるだけで、間に入って事をまとめようとする努力は一つもしなかつた。

十一、予言者デ・ウィットを訪ずれる。ジョセフ・スミスは、デ・ウィットに居る教会の兄弟たちが難儀をしているということを知りて聞いてそこをおとすれた。そのときデ・ウィットの町は暴徒に包囲されていたが、予言者は生命を賭して、見張りの兵の側をこっそり通りすぎて町へ入った。入ってみると聖徒たちはかわいそうに悲惨な悩みに逢つていた。食糧はすでに尽きはててどこから得るめあてもなく、家畜はと言うと、みな追いはらわれて敵の食い物になってしまった。ここにおいて、教会の会員ではないが事態をよく理解している数人の紳士の助けによって再び知事に訴えが出されたが、これもまた顧りみられなかつた。それで聖徒たちは十月の十一日、財産の損失に対して将来賠償を受けるという了解のもとに、デ・ウィ

ットを立ちのくという暴徒たちの提議を受諾した。そして十一日の午後、聖徒たちは何一つ持たずに飢えと寒さにせまられながらファールウエストに向けて出立した。聖徒たちは長い間にわたる包囲のためにはやせ衰へ、多くの者はこの虐待のために命を落とし、また五十マイルもあるファールウエストへ行く途中に数名の者がまた死亡した。彼らが約束に従つて賠償を請求しても受けることができなかつたのはほとんど言うを要しないことであつた。

十二、暴徒その他の所を攻撃する。デ・ウィットで勝ちを占めたので、暴徒たちは意気揚々としてその他の戦場でも勝利を得ようとした。このとき、長老教会の牧師サシル・ウッドは暴徒を呼び集め、彼らに告げて、今や土地の売却が行なわれようとしている、もし諸君が「モルモン教徒」を追い出すことに成功するならば、諸君は先買権のついたあらゆる土地を手に入れることができる。それで、諸君の目的を達するために急いでデビース郡へ行けと言つた。さらにまた、「モルモン教徒」が買ひとつた土地は再び諸君の手に入るにちがいない、そうすれば諸君は土地と「モルモン教徒」が支払つた金との両方を手に入れることができるのだと言つた。コルネリウス・ギリアンという男も、この悪計を遂行するためにウッドを助けようとプラット郡とクリントン郡で暴徒をつるために急がしく立ち働らいた。

これらの暴徒はいよいよ聖徒らの家を焼き始め、千八百三十八年十月十七・十八の両日にわたり吹雪のすさぶまっさい中に聖徒たちを戸外へ追い出した。このようにして雨露をしのぐ家を奪われた者の中にドン・カルロス・スミスの妻アグネス・M・スミスが居た。ジョセフ・スミスの末弟ドン・カルロスはこの時宣教師となつていて家に居なかつた。アグネスははだをつんぎく寒風の中を、二人の幼児をつれてグランドリヴァーの浅瀬を徒歩でわたるほかはなかつた。



## 支部だより

てはアンダーセン伝道部長より教会の組織についてのすばらしいお話があった外にも、いろいろと良いお話を聞くことが出来ました。

また証詞会に於いては、多くの会員達の力強い、自信に満ちた証詞を聞き、私たちもまた新たに希望や、決意をいだくことが出来ました。

十一月に札幌で行われる地方部大会で再びお目にかかることを約束して、無事旭川での幕を閉じました。

八月十一日に若松兄弟が、メルケゼデク神権を受け、また福原兄弟が、地方部の評議員となりました。

毎月第一日曜を除く、日曜日の夜七時から八時半まで「教義研究ゼミナール」を行っております。福原俊明兄弟を教師とし、テキスト「信仰箇条の研究」を使い熱心な会員二十名以上も集い、じっくりと教義の勉強に取り組んでいます。

八月のバプテスマ

十日 木下武男、武山勝光兄弟

岡部由佐恵、稲葉田鶴子姉妹

二十五日 阿部修二兄弟

稲葉延子、沢田扶三子姉妹  
二十五日は、希望によって川で儀式を行いました。波が、とても荒くて何度もころんだりしましたが、それでも厳粛な中に行われました。  
(宇野登美恵、太田美耶子記)

### 群馬支部

「神への多いなる感謝」藤井重男兄弟  
群馬支部九名合同バプテスマ!!

一週間に十一名がバプテスマを受けるといって喜ぶべきこと、神様に対して多いに感謝すべきことが起ったのである。

去る七月七日、その日は朝から快晴で非常に清々しい安息日でした。

あたかも在天の父なる神様が今日のこの記念すべき日を祝福してくださるようにな!!  
群馬支部の兄弟・姉妹たちは、長老から九名合同バプテスマがある由を話されますと全く驚異の態度で互いに目を見合わせていました。しかし、それも束の間、全ての兄弟姉妹の顔には幸福そうな、そして満足そうな様相が有々と表われました。私は我が支部の兄弟姉妹のこのような充たされた様子を見るのは本当に久し振りで心で一人喜びを弄むていました。

この日、バプテスマを受けられた方は

福田 丞書兄弟、善如寺方枝姉妹

唐沢 芳子姉妹、茂木 邑子姉妹

鈴木 桂子姉妹、星野 勝子姉妹

春山百合子姉妹、木村 宮子姉妹

北沢 潤子姉妹 以上九名

### 旭川支部

八月十日、十一日旭川に於いてこの地では二度目の北海道地方部大会が行われました。

十日は、バレーボールの試合とMIA。試合では見事旭川支部が勝利を治め、またMIAでは全員でフォークダンスやゲームを楽しんで、また各支部からのいろいろなすばらしい出し物にみんな惜しまず、拍手をおくり合いました。当支部からは花笠音頭、ソーラン節を踊り、また若松兄弟指揮でコーラスを致しました。十一日は、神権会、扶助協会、一般大会、証詞会等があり、一般大会に於い

全ての兄弟姉妹の強い証を耳にし誠に心強い感を受けました。

最近の群馬支部には非常に活気が感じられます。と云うのは八月に着工する予定の教会堂建築計画が着々と進行せられていくということです。九名合同バプテスマと云い又教会堂のことと云い誠にすばらしいことです。

長老たちのお話によりましてと云うまるで夢のような事態が実現するのだそうです。

最近自分は大変近かに次の事を強く感じます。それは私たち全ての兄弟姉妹は御国建設の為に常に協力し努力しなければならぬのだと云うことを!! 唯一の神権を有した真の教会の発展のために!!

## 甲 府 支 部

甲府盆地は、例年のごとく毎日蒸し暑い日が続いております。各支部の皆様その後いかがお過しですか。甲府支部の者は皆暑さに負けず、今、支部発展のために全力をつくしています。甲府盆地の囲りに葡萄畑が一面にひろがって、早くも種なし葡萄が私達の口を潤してくれます。秋には葡萄を求めて他県からお客さまが多勢いらっしゃいます。他支部の皆様も甲府支部へ来るなら秋いらっしゃるといいですよ。

さて、甲府支部では久しく皆様に御無沙汰してしまいました。この間色々なことがあり、とても紙面に書ききれません。それで、ごく最近支部に於て問題になっていることを

二・三お知らせします。

まず、このところ毎週火曜日五時半からの英語会話に来る人がめっきりふえて、会堂に溢れ、入りきれなくて外に立っている人までいるような状態で、会員もびくつきりし、又うれしくも思います。ところが、英語話が、六時五〇分に終り、七時MIAの始まる時になると、時には火の消えた様な静けさになり、今までいた人はどこへ消えたかと思う位です。真に残念ながら、会員や宣教師の方が出席するよう勧めてもほとんど残りません。会員も非を見て反省し、又改良しようと努力しているのですが、そういう方々が英会話の会によってモルモン教会を知り、又いつの日にか本当に教会を訪れて下さることを願っております。

私たち甲府支部にとって最も大きな問題は、男子会員が非常に少ないことです。このことが支部の他の問題にも影響し、支部にあっては頭が痛いです。又このことは前からあったことなのですが、本当に何とかしなければ今後の支部発展に大きな障害となるでしょう。女子会員ももちろんお手伝いしておりますが、女といっても神権者の少ないことは悩みます。

なお、六月号の「聖徒の道」でアンダーセン伝道部長も言っておられますが、古い会員が教会に来なくなったり、バプテスマを受けた後はさっぱり来なくなる新しい会員の例が甲府支部にも残念ながら数多くあります。

先日、MIAの討論会でMIAのもつてい

る問題を話しあい、そして日曜日、東京からお二人の兄弟を迎えて支部の事について語りました。皆熱心に教会の持っている問題をみつめて、より良くしようとする気持が感じられ、一人々々に勇気が湧くようで、今さらながら話し合うことは大切であると思います。近く会員全部集まって話しあいしたいと思います。

先に印した問題は、各支部の皆様も持ち熱心に考えられている事かも知れません。どうか皆様の良い知恵や考えがありましたら、お互に支部発展の為に、そして又、もっと大きな御国建設の為に意見を交換しようではありませんか。

なつかしいガンダーソン長老より  
嬉しいプレゼント届く

現在甲府支部は甲府盆地の東の一角にすばらしい礼拝堂に恵まれています。三年前には洋教学院を借りての集会でした。当時の宣教師ガンダーソン長老とパルマ長老は伝道活動に多くの犠牲を払い、労働宣教師として一生懸命働いて下さいましたことは多くの兄弟姉妹にとって忘れることが出来ないことの一つです。このほどそのガンダーソン長老より雨宮たん姉妹の所に、桜の木を植えて下さり、と十ドル送られてきました。桜の木はよい時期に教会の庭に植えられることになりました。そしてアメリカの地にて甲府支部を想って下さるガンダーソン長老をなつかしむことでしょう。(吉村薫記)

## 岡山支部

親愛なる兄弟姉妹今日は。  
今日は、岡山支部の近況をおしらせします。今支部に兄弟が三人アロン神権をいただき支部で活躍されています。

日曜学校会長に陶山兄弟、第一副会長に裨田兄弟、YWMA会長に小原兄弟そしてバプテスマをうけられたばかりの大内兄弟が第一副会長としてガンバッテいらっしやいます支部に今会員が九十二名いらっしやいます百名に会員の人がなられますと支部が管理できる建て物があたえていただけます。後八名ですが、みながんばっています。三十日にはおともだちを連たてきて下さいというパーティをひらきます。

そしてこの中に何人の人が家庭習会をうけられ神様の真の教会へ入られるかと思っております。全部の人が教会へはいられたらこの上はないよごびです。

又岡山支部の役員が少しかかりました。フリーマン長老は日本での伝道をおえアメリカへおかえりになりました。そして今支部長さんはルイス長老です。岡山支部にいらっしやる宣教師の人々は

ルイス長老、ピイター長老、スチュアート長老、シロダー長老

日曜学校会長 陶山兄弟

第一副会長 裨田兄弟

YWMA会長 小原兄弟

第一副会長 大内兄弟

このように熱心な兄弟、宣教師の人々は支部のために努力して下さっています。

又一ツ悲しいことがありました。それは旭野咲子姉妹がアメリカへ留学されました。旭野姉妹は大へんやさしい人で私たち姉妹のよき相談相手だったので留学されるのでしかたがありません。

十一月に広島で地方部の大会が行なわれませんが扶助協会は、今バザーの作品を作っています。さてどのようなよすばらしい作品ができるか、又この作品によつて支部の姉妹たちが上り発展できるかと思っています。

## 仙台支部

◎七月二十八日中野百合子姉妹、阿部敦子姉妹が東中央地方部第一副地方部長の按手により地方部非専任宣教師に召された。二人共仙台支部のベテランであるのできつと良い成果をもたらすと期待している。

◎八月六、七、八日は有名な仙台七夕祭で又必ずと云つて良いほどその期間中に雨が降る。そして今年も例外ではなかった。仙台支部でも毎年きまつたように七夕祭に氷水販売バザーを市中繁華街で行う。今年も二ヶ所にテントを張り会員が一致協力して良く働いた。このバザーは利益率も良いし又兄弟姉妹が共に汗して働く時に真の兄弟愛が生れる。

◎八月十二、三、四日エンサイローレルのサマースクール開校。支部では今年からエンサイローレル(中高校生)を組織し毎

週土曜日定例集会を開いているが始めての夏休みにサマースクールを計画した。合宿し共に学び(学校・教会の教課)共に働き(教会の清掃ペンキ塗り)共に語り又社会見学等とても楽しく有意義であった。

## 西宮支部

蟬しぐれに明け暮れる当支部は、酷しい残暑にも負けぬ元気な兄弟姉妹たちでいつも超満員です。

◎八月八日、MIAの特別プログラムは、趣味の集いで各兄弟姉妹たちの豊かな趣味が、次々と披露されました。姉妹たちのみことな、手芸作品の数々、仲でも一年もかかって編み上げたと言ふ素晴らしいテーブルセンター、一糸一糸心を込めて編みませしたので、若し素的な人が表れたらプレゼントしたいと思ひます。とのこと。また曰く因縁付コレクションの紹介、兄弟達の切手拾集等又楽器ではハーモニカやギター、お琴等、他にも大きな油画を運んで来た姉妹と、皆良い趣味の持主ばかりでした。最後のお楽しみとして、「フラダンス」ムームー姿の姿妹達四人が、アロハシャツにレイをかけたサンボーン長老のウケレに合せて、みどりの芝生で、手振りもあざやかに踊りました。うっとりとして見られる兄弟姉妹たはいつしか、波の打寄せるワイキキの浜辺に居るような、幻想にかられたかも知れません。顔を見ただけでは想像もつかないような趣味を持って居る人が随分多いのに驚きました。また同じ趣味を持つ友を

発見した人もいたことでしょう。こうした催しを通して私たちが更に親睦の度を増し、教会の発展に力強い礎となることを思うと本心に意義ある集会だったと思います。

より  
 ○八月二十四日 M I A の西中央地方部大会が開れましたが、丁度その頃、田口支部長さんの所に可愛い女の赤ちゃんが生まれました。次の日の大会で、かくし切れない喜びに、いつになくそはそはとして居られた支部長さんを御覧になった方は、きつと心の中で拍手を送り乍らこう思ったことでしょう。

『ああついに彼も本当のパパになったな』と……

今迄も支部の父親役として、又姉妹もお母さんのように皆から頼り親はれて居るお二人ですので、赤ちゃんの誕生は、会員の一人一人に取っても、大きな喜びでした。こうして我等のモルモン家庭は日毎に大きく栄えて行くことでしょう。姉妹も赤ちゃんもとても御元気で三十一日、無云退院なさいました。

### 阿倍野支部

M I A

八月二十九日、ロードショウ

雨の降る中を出席者八十余名を迎え、ダンス、コーラス、絵画、演劇、演説、ウクレレと夫々活動クラス御自慢の総発表があり、その後ぐつと日本調にかえり、姉妹の優雅なお琴演奏を聞き、又全員でフォークダンス、社交ダンスを行いました。集会所が狭いために朝の通勤ラッシュを思い出した人も多かった

ようです。時には柱とダンスしている人も見られましたが、そこは慣れたものでごぶも作らず、けが人も出さず楽しい雰囲気のもとに、「ほたるの光を」もって無事会を閉じました。

恵まれてまして毎週出席者が増加のため、分級レッスンも活動クラスも部屋からはみ出すような状態で、小さな部屋に詰込まれた兄弟姉妹は汗だくになりながら活発な発言をして力強いレッスンを行っています。

新年度を迎え、平均出席者一〇〇名にしようとして、そしてはやく日曜学校のように二倍制が実施されるよう、また活動クラスでは月に一度発表会が持てるようにと、計画を練っております。そして質量共にすばらしい M I A とするよう若さにあふれた役員一同頑張っております。

### M I A 新役員

Y M M I A 会長

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

W W

小倉 国康

岡田 勝子

副会長 宮川 淳

書記 沖野 幸子

大仲 俊彦

竹中 和子

高水 間一隆

森脇 敏雄

井上 敬子

南加 代子

浅見 佳子

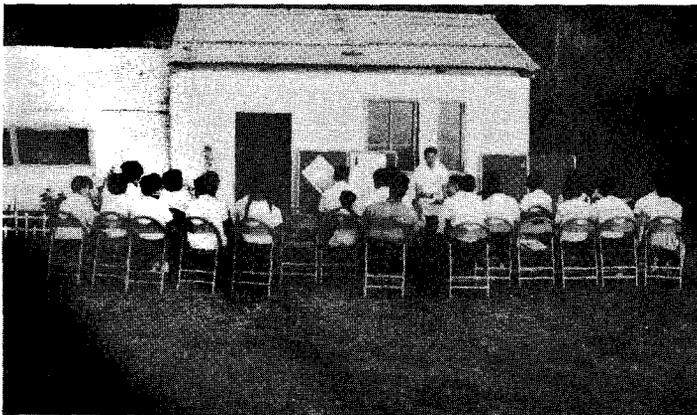
小島 敏夫

菅井 智士

鷺進 二一

### 普天間支部

七月、M I A 主催、開拓者記念の会が開かれた。その時の写真です。私たちの支部の建物に注意されます様に。





待鳥弘子 東京西 相原良人 江藤好子 樋口磯子 細川恂子 井上邦弘 石田英紀 神田治 河川和江 小林清光 松代美喜子 木島弘子 大沼洋子 吉岡久子 山形 阿部薫夫 川村善次 川村幸子 川村登志生 小林登志生 標原政章 増田賢一 三浦彰士 村上正子 村上喜美子 和田好茂 和

普天間 新垣恵美 伊佐静枝 小浜敏子

神 権

旭川 アオヤマ テルミ(教) クマガイ アツシ(ク) 広島 ニシハラ サトシ(執) シンヤ ヒデアキ(教) コガ ヒサヨシ(祭) 金沢 カメイ シユウイチ(教) カワバタ ヒロアキ(教) タナカ トオル(祭) 京都 イイジマ ヤスシ(執) コザイ カツトシ(ク) オカモト リヨウ(ク) オカムラ コジ(ク) ツカダ ショウジ(祭) 室蘭 チバ トシハル(長) ハヤシ カツヒサ(ク) ジンノ フサキミ(ク) マチダ テルフミ(ク)

名古屋

キザワ オサム(教) コサキ カズオ(ク) マツモト シンイチ(ク) イケダ シゲミ(祭) 新潟 ババ トシヒロ(執) クラタ イチロー(ク) モリ タカアキ(ク) タシロ マサヨジ(ク) 岡町 コスギ マコト(執) サカモト シンジ(教) イケ ショウジ(祭) マルカワ クニオ(祭) 岡山 スヤマ トシハル(執) 小樽 オオムラ ケンジ(執) ヒグチ ヒロシ(教) イケハタ イサオ(ク) コジマ オキナリ(祭) 三の宮 アンドウ テルユキ(教) マスダ ジンイチ(執) タカクラ マコト(ク) キズノ ケイイチ(教)

シバヤマ モトヨシ(ク) シンタニ クニアキ(ク) 東京中央 フジモト トヨゾウ(執) 東京東 イシカワ ヤスオ(執) イワナガ マサハル(ク) カミジヨウカツヒロ(教) 東京北 ヤギヌマシユウイチ(長) 東京南 イマムラヨウイチ(執) トクダ シゲムネ(ク) 東京西 ヒラノ カツヤ(執) タダオ タナカ(ク) タカイ ミチヒロ(ク) R H e e M Y n h o a n g (教) フクダ ノリアキ(祭) 山形 タキザワ コウイチ(教) 普天間 コハグマ スナオ(教)

訪問教師のメッセージ

(千九百六十三年十一月の第一週に)

断食及び断食献金

断食は最初から宗教的な慣習として実施されて来たのであります。主からの誠命としての断食の始まった、確かな日付は知られて居りません。それは旧約時代の昔から主の民によつて実施されていきました。それはニーファイ人たちがこの大陸に渡つて来てからも実習されて居りました。(アルマ書六・六)断食は時の絶頂の時代に教主によつて教えられました。(マタイ伝六・十六―十八)それはこの神権時代に在つて予言者ジョセフ・スミスによつて回復されました。(教義と聖紀八十八―七十六)

断食は私たちへの誠命として別に定めのない限り、月の始めの安息日に守られて居ります。それは四つの段階、即ち(一)断食 (二)祈り (三)礼拝 (四)与える によつて達成されます。断食は食物を断つことでもあります。それは密かに祈り又礼拝に参加することを含んでいません。断食の集会で私たちが、その受けてい

祝福に感謝を現す時、その絶頂に達するのであります。最後の段階は、価値ある貧者の為に節約した食事代と同等額を支部長に提供することであります。

断食はこの神権時代に於て聖徒たちが、カトランドで非常に困窮した状態に在つた時に予言者、ジョセフ・スミスによつて紹介されたのであります。会員たちは貧しい人たちに分ち与える為に断食し貯えたものを捧げるように要請されたのであります。断食は福音の如何なる他の誠命とも同様に義務づけられた誠命であります。私たちは続けて二回の食事を控えその間如何なる食物も水もとらず、節約した食事代に同等額を捧げるように期待されます。

主はその持物を喜んで貧しい人に分ち与えようとしないう者の運命に就て宣言して居られます。

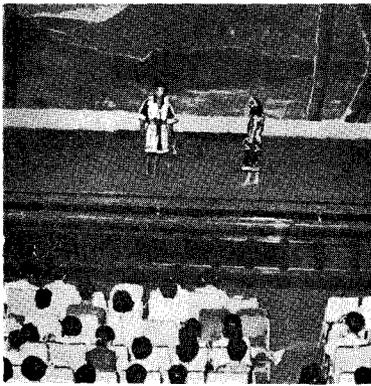
この故に、もし何人たりともわが造りし多くの物の中より取り、わが福音の律法に従いてこれを貧しき者之しき者に自己の取前をわかつことをせざる時は、悪人と共に地獄に

落ちて苦惱を受け目を挙げて望み視ん。

(教義と聖約 一〇四・一八)

私たちはこの捧物をするに當つて自分の一の献金と同様に良心的であるべきであります。若しも私たちが主が私たちに恵んで下さつていふ豊かな物を喜んで人に分け与えるなら、私たちが貧しくなるようなことは少くなります。忠実に断食献金をすれば、実質的にこの基金が増えて教会が価値ある貧者を世話することが出来るようになるのであります。

断食を通して私たち寄贈者、及びそれを受ける者が共に祝福されるのであります。彼らの苦しみは和らぎ私たちは強くされるのであります。断食は道徳的な訓練であります。私たちが目的を以つて断食するなら、靈的なものに近づき易くなり、内面の人に食物を備へることになります。或靈的な偉大な業積は断食中に達成されたものであります。両親はその子供たちにこの律法を教えるべきであります。



伝道部M I A会長

佐藤 襄 二

## M I A 全国大会 を顧みて

今夏、八月十四日から十七日の四日間に亘り、京浜地区の諸会場で行われた「M I A 全国大会」を回顧すると、まあ、必らずしも大成功とは云い難いが、第一回目にしては八十点ぐらいであったと自評している。

M I A 大会を京浜地区で行おう、と云う計画はアンドラス前伝道部長の時には幾度か検討されたのであるが、京浜地区、阪神地区の各支部は問題が無いとしても、その他の支部から果して何人ぐらいの会員が動員出来るかと云う事と、経済的な面から受入れ側である京浜地区の各会員がどの程度の協力体制を敷いて呉れるか、と云う二点の問題で開催を今日まで延ばしていたのである。結果的にみて京浜地区の各会員の協力を深い感謝の念を抱いている反面、地方から多大の犠牲を払って参加された兄弟、姉妹達を厚く歓迎するにはもっと全体の協力が必要とされたのではないかと悔やまれてならない。一部の兄弟、姉妹の献身相な奉仕が今回の大会を成功させたと云っても過言でない。特に、大会前の一週間会場整備、演劇の練習、宿泊準備……等枚挙にいとまがない。そのなかにあって、未完成の西支部の新教会堂をなんとか使用し得るように拍車をかけてくださった労働宣教師の諸

長老にも感謝の意を捧げたいと思う。

大会初日、開会の讚美歌が新教会堂一杯に拡がった時「あ、やつと大会が始まった」との感慨に何か胸が熱くなってきたのであった。あとは大会の一瞬、一瞬に全力を尽して失敗のないように運営してゆけば、と云う折りに似た希望で此の日を待っていたのであった。建物の外観は既に皆さんも写真等で御存知のように真白に塗られ、垂直に伸びている塔の美しくも壮麗な遠景は、夜目にも神々しく輝いているが、内部の造作は八分通りの出来具合で、特に心配したのは、屋内照明と手洗所の備で、大会前日にやっと使用のメドが付いた、と云った調子であった。思い返すと、よくも四日間を乗り切れたと思う。ある兄弟が「我々のささやかな協力が殆んど不可能に思えた大会を立派に成功させたのはそこに何かがあったからだ」と述懐していたが、私もそう信じている。

扱て、最初の夜、開会式の時のアンダーセン伝道部長のメッセーヂの後、支部分会パーティーに入ったが、支部内でのパーティーならそう珍らしくないが、大会に於いて、而も、大人数の出席している中でゲームとしてあのような種類を採用する事に可成りの冒險を要し、混乱に陥るのではないかと非常に心配したが、司会者の巧みな指導によって十分な効果を上げ得たと満足した次第である。開会后、宿泊場所の照会で多少の混乱があったが、何とか支部分会長の協力を得て一人も浮浪者を出さずに済んだ。

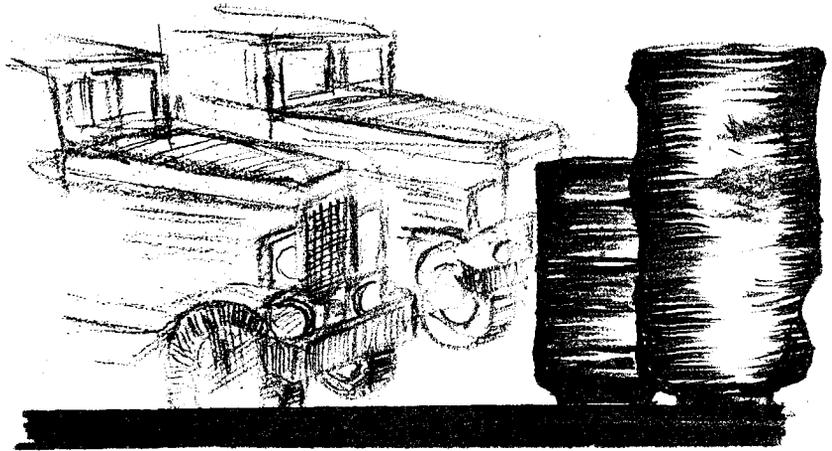
二日目、スポーツの祭典は今大会を通じ、最も閑散であり、地方の優勝に順当としても、地方の兄弟の積極的な参加をもっと望みたかった。夜の「ゴールド・アンド・グリーンボール」への参加者は予想を下回ったが、大変楽しい一時を過し得、ダンスをあまりやら

ない地方の会員には多少、戸惑ったようであったが、大会ならではの、ゴージャスな雰囲気にも多少、浸れたのではないかと思う。東京南支部のハワイアン・バンド「トリーキョーサウス・アイランダーズ」は全員、支部会員であり、MIAの熱心な兄弟、姉妹達である事を考えると、私達ももっと謙虚さの中にも充分な自身と忍耐と闘志をもつて励むことの必要性和有意義さを痛感させられる。

三日目のバス・ピクニックは何如でしたか。群馬支部会員の献身的な歓迎奉仕によって心配されていた事故も起らず、楽しい一日を過す事が出来た。バスの行き帰り、あるバスは歌であり、ゲームあり、大変賑やかなうちに兄弟、姉妹のしんこうを深め合えたことと信じています。夜の伝道部特別集会では、教会幹部の有意義な話に未来の教会の発展に想いをめぐらしたことと思います。

四日目、全国から集った、兄弟、姉妹の強い証詞に昨夜来の疲れを眠む気が一ペんに吹っこんでしまい、時間の過ぎる速さには、はらしたの私だけではなかったと思います。夜の「MIAハイライト」も定時に始まり、北海道地方部の「アイヌ悲話」東中央地方部の「余暇の天国」と各地方部らしい特色のある劇で皆さんを楽しませて呉れた。その間に西中央地方部の民謡とピアノ演奏が入り、時間的なバランスに多少の偏りがあったが、全国的規模の大会の第回目としては合格点に入ろうと、考えている。

微細に亘り検討すれば、沢山のミス、改めなければならぬ箇所も無数あったが、第二回目の大会にはこの経験を充分に生かし、万全の配慮をして、また、多くの兄弟、姉妹、お友達の皆さの御期待に添えるようにしたいと思います。みなさん、一人一人の上に主の豊かな導きがありますようにお祈りしております。



## いっぱいのお茶

ハリソン・T・プライス

一九四五年八月十五日、あの大きな戦争が終った時、鳴海の町では何の祝もなかった。ただそこには空腹と悲しみがあるだけだった。天皇がラジオで国民に「たえがたきを、たえ忍ばねばならぬ」と言われたのを聞いて理解出来た人はわずかであった。この小さな町の人達は皆、どうしてよいか解らず、ただ何百年もの間続けてきたように、店や畠で働き続けた。

佐葉竜猪さんと彼の妻ちよさんは、近所の工場や鉄道への空襲はもはやなくなったのだとニュースで知って嬉しかった。突然平和になつて、大きな銀色のB29が彼等の小さな家の上を再び飛び回る事がなくなつたという事は不思議にさえ思われた。しかし今や焼夷弾は去つたが、空腹はいぜんとして残つた。政府の米の配給は、一日の各人の量が二才の子供の分量まできりつめられていた。長いこと、人々は蛙や木の根、また小さなさつまいもを食べて生きてきたのである。佐藤さんと奥さんは彼等の大部分の食べ物を小さな息子やすお君と娘のあつこさんに食べさせてきた。子供達は畳の上に敷かれた布団の上に静に横になつていた。

八月には、佐藤さん一家に二つの大きな変化がやつてきた。日本軍の指導者は東京湾で正式に米国に降伏したし、可愛い娘あつこさんは栄養失調と赤痢のため静に死んでいった。葉を求めぬいくばくかのお金があれば彼女は助かつたに違いないのだが、佐藤さんは後日そんなお金は全然なかつたのだと述懐していた。

アメリカ軍を一杯に乗せた最初のトラックが鳴海の狭い通りを音たてて通り過ぎる時、人々は戸のかけにかくれてこわごわ待っていた。戸のすきまからのぞきみし、自分達の偉大な軍隊をどうにかして打ち負かしたアメリカの若い青年が疲れた様子で車に乗っている

のを見た。幾百年もの間天皇、武士、商人そして巡礼者達が色とりどりの旗や鈴をもってこの町を通り過ぎていったのである。鳴海は古い昔から、京都と東京を結ぶ東海道にある有名な宿場であった。ところが今や幾世紀を通じ初めて、自分達を征服した外国人がこの埃りっばい街道に現われたのである。

畏敬と恐ろしきのまじった感情で町の人達は何とも云えない事がおきたものだと思った。けれども子供達がまず初めにこの金髪の侵略者の本当の性質を知り始めた。彼等はその若さとこわさ知らずでもって通りへ出、アメリカ人が微笑しながらトラックからキャンデイをほおってゆくのを見つめた。大きな恐ろしきは去った。しばらくして外国の兵隊達は町中へやってきて、絹や美術品と食物を交換するようになった。英語の知識はこの空腹でおおわれた町中では最も価値のある才能となり、商人達はこの奇妙な言葉の解る人を急に求め始めた。昔はこの物静な学者佐藤さんを聖書の強信者だといって人々はあざ笑ったが、今や町の人達にとっては一つの希望的存在になった。

十一月二十二日、寒い静な日だった。佐藤さんは町の北にかかっている橋の近くにある一軒のお茶屋で町の人達と一緒にこの頃の生活の苦しさを話し合っていた。そのうち誰かが戸外の荒れた道端に三人のアメリカ人が立っているの気がついた頃は外は殆ど暗くなりかけていた。彼等はキャンプ(軍団のある所)へ帰るのに車を待っていたのである。この外人達は白い息を吐きながら固い道をトントン足踏みして体を暖めているのが店の戸の間から見えた。何人かの人が中へ入って体を暖めるよう彼等を招き入れようといいだした。そのじつ英語を話す事の出来る人は佐藤さんだけだったのだが。

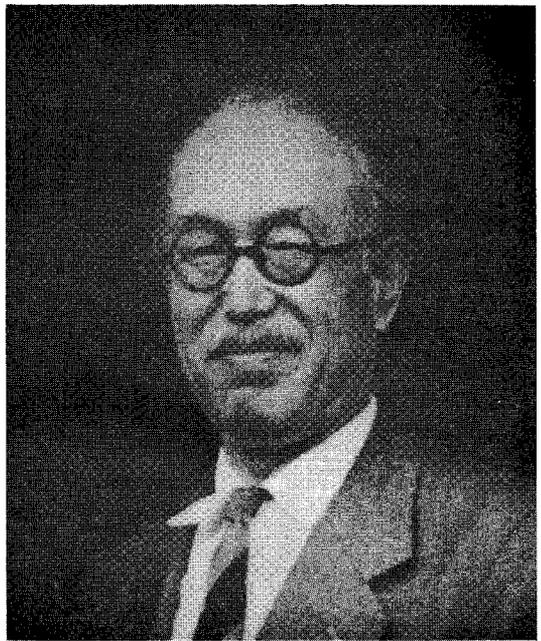
威厳のある日本人が「待っている間中へ入って暖まりませんか？」と英語で語りかけた時、この三人の兵隊達は驚いた。すると佐藤さんはそのうちの一人は絹や美術品をうっている彼の店へ以前やってきた事のあるメル・アーノルドである事に気がついた。後の二人はレイ・ハンクス、リード・デービスとそれぞれ自己紹介をした。

店の中へ入ると、このアメリカ人達は火鉢の中のわずかな炭火に手をやって、その上で手をこすりこすり感謝を述べた。もてなしのしるしとして、その家の主人はこの訪問者達にゆで玉子をくれたので彼等は体の中から暖まった。女の人が最上質の静岡茶を熱くして入れて持って来ると、驚いた事には、この外人達はそれを飲むとはしなかったのである。「有難う御座います。でも私達はお茶や他の刺戟物をとらないのです」とハンクスが言った。「私達は教会で、私達の体は神からの聖なる賜で、その健康には特別な注意を払うよう教えられています。」

「これは非常に珍らしい教えですね。私は聖書を勉強しましたがそのような事は聞いた事がありません。」佐藤さんは言った。

訪問者はそこで、知恵の言葉、と呼ばれる神の教え(啓示)について説明し、彼等の行っている教会の信者達は古代の記録から書き写された聖なる歴史書に因んでモルモンと呼ばれていることも話した。佐藤さんの求めに応じ、そのアメリカ人のうち一人は、今度またくる時にそのモルモン経典を一冊持ってこようと言った。この三人が大きなトラックに乗って去っていった後そこに集っていた一人は「珍らしいね——このアメリカ人達は本当に変わった。他の人達を理解するようなわけにはいかないね」と云った。

約束していたように、メル・アーノルドとレイ・ハンクスはモ



佐藤龍猪兄弟近影

ルモン経典を携えてまたやってきて、佐藤さんの家族と一緒に研究会を持つようになった。佐藤竜猪さんは始めから終り迄注意深く読み、何度も読み返しては研究し、そして折った。そうするうちに、他のモルモンの信者の兵隊達も彼の小さい家へやってくるようになり、佐藤さんと奥さんは近所の小さい子供のためにささやかな日曜学校を持つようになった。しばらくして、彼等は毎週の研究会に友達を招待した。一九四六年一月二十七日の夜、一人の若いモルモンのチャップレン（従軍牧師）、ノートン・ネルソンが雪まじりの風をつけて彼等の福音研究会へやってきた。その晩、閉会の祈りの後みると雲をつけて満月が輝き、新雪におおわれたあたりを照し出し

ていた。風ですべての交通は完全に麻痺していた。チャップレン・ネルソンと彼の友達達は深雪でおおわれた月夜を、彼等が新しく配置された岡崎の町の近くにある連隊本部へと三十マイル（約四十八キロメートル）も夜通し歩いて帰っていった。

佐藤さんの家ではまだ病気が絶えなかったが、新しい友達がキャンデーや食物を持ってきてくれた。小さなやすお君は生れて初めていろいろの缶詰の果物や肉類を味わった。一人の名もないモルモンの兵隊の行爲がこの戦後の飢えた時代に彼等の命をつなぐのを手伝ったかも知れない。というのは、数ヶ月の間毎日この兵隊は大きな軍用トラックにパンを運んで町の北の橋迄やってきて、まだ暖かい幾本かの軍用パン（訳者注…恐らく二斤の食パンが一つになったもの）をトラックの上から放っていた。彼の車が埃っぽい道を再びうなりを立てて戻る時、たくさんの人が感謝に満ちて立っていた。

この鳴海の町に梅雨がやってくる頃には、佐藤竜猪さんと妻ちよさんはモルモン経典の真実である事を確信するようになっていた。末日聖徒であった兵隊達が、町の皆と会った最初の日にお茶を飲むうともず、彼等の信仰をのべて以来、佐藤夫妻の生活は大きく変わった。一九四六年七月七日、佐藤竜猪さんは大阪にある関西大学のプールでスイ・エリオット・リチャーズ長老からバプテスマを受けた。竜猪さんの忠実な妻ちよさんと、か弱い息子やすお君もその日にバプテスマを受けて按手確認された。これは日本では二十年このかた初めてのバプテスマであり、極東に於ける教会の新時代の始まりでもあった。

一九四八年の初め、ホノルルの教会の指導者であったエドワード・エル・クリソールド長老が日本伝道部を再開した。その年の六

月、初めて五人の宣教師が東京についた。この五人の宣教師は皆かつての太平洋戦争（第二次大戦）では抜群の連中だったのである。

戦後の伝道が九千万の日本人の間に拡がってゆくために、佐藤竜猪兄弟とちよ姉妹はその道を切りひらいてゆくのを助ける多くの人達の一人であった。後に教会に加入した沢山の人達は、小さな佐藤兄弟の家の畳に群がって坐り、靈感に満ちたジョセフ・スミスの物語を聞いたのである。何年もの間、新しくやってくる宣教師達は老練な佐藤兄弟の我慢強い指導によって複雑な日本語を理解出来るようになった。佐藤姉妹は宣教師達の靴下を修理してやったり、火鉢で焼いて作った小さなパン等を御馳走してくれた。パプテスマを受ける前、とても具合の悪かった息子のやすお君は完全に健康をとりもどし、彼のクラスでは最も大きな子になる程に育っていった。

一九四九年六月十二日、マシュー・カウリー長老が日本伝道部を旅した時、佐藤竜猪兄弟を長老に按聖任された。このようにメルケゼデク神権に按手聖任されたのは日本ではここ何十年のうち初めての事であった。彼はこの按手聖任と同時に特別な祝福を受けて、新しい日本伝道部の公式の通訳者、翻訳者としてもまた任命されたのである。

新しい翻訳者の前には大きな急を要する課題が横たわっていた。伝道部が大きくなるにつれ、教会の案内用のちらしや手引、そしてモルモン經典の再翻訳などの印刷の必要に迫られた。アルマ・オー・テイラー長老が骨折って最初のモルモン經典の翻訳を完成してから四十年、その間に日本語は沢山の変化をし、現代化していた。「教義と聖約」と「高価なる真珠」はまだ翻訳されてはいなかった。祖先からの町、鳴海を去って東京へ移り、佐藤兄弟は祈りに満ちながら辞書を開き翻訳を始めていった。「モルモンがニーファイの版からとって自分の手で別の版にきざんだ記録……」

注意深く書かれた漢字の頁が日毎に増していった。現代風の靈感に満ちたモルモン經典が印刷にふされるまでには何年もの間研究、討論、語句の吟味を重ねた。「教義と聖約」と「高価なる真珠」も又同じように読み易い日本語に翻訳された。九年にわたる忍耐強い仕事の結果、佐藤竜猪兄弟は末日聖徒イエス・キリスト教会の標準聖典の翻訳を遂に完成した。この回復された福音の偉大なおとずれは殆ど一億にのぼる日本人の間へ自国語で述べられる事が出来るようになった。朝鮮、沖縄、中国でも又日本語を読む事の出来る人達は、これらの出版物を熱心に求めた。こうしてアジアに於ける偉大な仕事の道は更に開かれていったのである。

毎週佐藤竜猪兄弟は東京にある教会の日当りのよい小室で大事な仕事を続けている。大きくなってゆく伝道部にあって、もっと多くのパンフレットやレッスンの翻訳が必要とされている。彼の忠実な妻であったちよ姉妹は一九五九年に亡くなった。頭の良い息子やすお君は今、東京にある大きな大学でエンジンアリングを専攻している学生である。最近佐藤兄弟はアジアでの改宗者として初めて自分の息子をメルケゼデク神権に按手聖任した。

このように今迄多くの人達の生活を変えてき、又今後も影響を与えていくであろうこれらの出来事を振り返ってみるとき、この一人の人が先ず初めて福音のおとずれに接した事は何と奇しき業ではなかったろうか。十五年前の寒い晩、日本の鳴海という町で、見も知らぬアメリカの兵隊達があの小さなお茶屋へ入っていった時の様子が今私達の目の前に浮ぶようである。そうして、もしあの晩、この珍らしい人達が、お茶を飲んで去っていったとしたら、どうなっていたであろうかと考えさせられる。

世間には、佐藤兄弟のようにこの偉大なおとずれを待っている人達が居る。恐らくあなたは今日そのような人に出会うかも知れない。

(福田濃兄弟訳)



## 神の王国の実現へ (二)

### 支部組織完成への具体的目標

先月号で真の「神の王国」、すなわち「唯一のまことの神の教会」を地上に実現するためには、まず会員たちと支部長会と地方部長会とがそれぞれ今「何ができるか」のところに説明してあることを早速達成する必要があることを述べました。会員の方々は「神の王国」という建物の「杭」すなわち「ステーキ」であるところの「ステーキ部」が実現するためには、その「ステーキ部」をつくっている「ワード部」がまず組織されなければならないこと、現在の「支部」は伝道部に属し将来完全な組織をもつはずの「ワード部」の前身であること、「ワード部」になつてはじめて「完全な祝福を具えた神の国」があらわれてくるから速やかに「支部」の組織を完成する必要があることなどがおわかりになつたと思います。

さて「ワード部」にはすくなくとも四百―五百名の会員と四十五―六十五名の大神権者のあることが必要であります。そしてこれらの会員および神権者はどのように組織されるかその大体を示すところのようであります。

(一) 支部長会―支部長、第一副支部長、第二副支部長、書記(会計)、書記(統計)、補助書記。

(二) メルケゼデク神権定員会(支部管理組織外)―会長、第一副会長、第二副会長、書記、教師、教師。

(三) アロン神権定員会(二十一才以下)―主事、主事補。

(四) 執事) 会長、第一副会長、第二副会長、書記、教師。

(五) 祭司グループ) 顧問、会長、書記。

(六) アロン神権定員会(二十一才以上)―主事、主事補。

(七) 執事) 会長、第一副会長、第二副会長、書記。

(教師)会長、第一副会長、第二副会長、書記。

(祭司グループ)会長、書記。

(五) 地方部役員(支部管理組織外)。

(六) 宣教師(支部管理組織外)―専任宣教師、勤労宣教師、地方部宣教師。

(七) 支部家庭訪問―主事、主事補。

第一区(支部長)―主任、訪問者。

第二区(第一副支部長)―主任、訪問者。

第三区(第二副支部長)―主任、訪問者。

(八) 支部教育委員会―委員長、書記。

(九) 教師養成委員会―委員長、書記、養成委員、図書係。

(十) 建築資金委員会―委員長、第一副委員長、第二副委員長、書記、企画委員、統計係。

企画委員、統計係。

(十一) 支部維持委員会―委員長、第一副委員長、第二副委員長、書記、企画委員、統計係。

書記、企画委員、統計係。

(十二) 福祉活動委員会―支部長、第一副会長、第二副会長、書記、長老グループ代表、アロン神権(二十一才以上)代表、扶助協会会長、第一副支部長、第二副支部長、管理長老。

(十三) 日曜学校―会長、第一副会長、第二副会長、書記、補助書記、音楽指揮者、音楽奏者、図書主任、プログラム印刷係。―教師、教師補助、クラス議長、出席係、伝道者クラス。―子供日曜

学校責任者、書記、補助、音楽指揮者、音楽奏者、図書係、初等協会教師。

(十四) M I A - Y . M . M . I . A 会長、第一副会長、第二副会長、書記、音楽指揮者、音楽奏者以下略。― Y . W . M . I . A 会長、第一

副会長、第二副会長、書記、音楽指揮者、音楽奏者、聖徒の道係以下略。

(十五) 系図書委員会―会長、第一副会長、第二副会長、書記、教師、系図探求指導者、委員、図書係、記録保存係。

(十六) 扶助協会―会長、教養顧問、仕事指導顧問、書記、音楽指揮者、音楽奏者、レッスン教師、仕事会指導者、家庭訪問教師、聖徒の道係以下略。

(十七) フェロシッピング委員会。(十八) 初等協会。(十九) 美化委員会。(二十) 聖徒の道委員会。(二十一) 行事予定発表委員会。

(二十二) 歓迎委員会。(二十三) コーラス委員会以下略。

以上は大体を記しただけであります。くわしくは表をごらん下さい。

これだけは「ワード部」が組織されるための前提として完成されなくてはならない「支部組織の具体的目標」であります。ここに

具体的目標が示されましたから、私たちは先月号に示された(一)紹介

制度を活用して将来有力な会員となるべき求道者を探しましょう。

そして一人でも多く、一時も早く有力な会員をつくることに努めま

しょう。

(一) として「フェロシッピング・プログラム」の運用によって新会員を一時も早く有能な会員になっていただき、男子の会員には数

週間のうちに神権を受けられるように資格をつけていただくように

しましょう。これが最も基礎的な活動であります。

\*は支部管理組織の中に入らない。

# 支部組織表

書記 書記 第一副支部長 支部長 第二副支部長 補助書記 書記

(アロン神権主事)

(ホーム・ティーチング主事)

* 伝道部役員		* メルケゼテク神権		アロン神権		--(2才以下)		アロン神権		(2才以上)	
1.		長	老	主事	主事補			主事	主事補		
2.											
3.		全長		執事	教師	祭司グループ		執事	教師	祭司	祭司グループ
4.		第一副会長		A顧問	A顧問	顧問		1顧問	教師	顧問	全長
5.		第二副会長		全長	全長	全長		2顧問	教師	顧問	書記
6.		書記		第一副会長	第一副会長	書記		3顧問	教師	顧問	顧問教師
7.		教師		第二副会長	第二副会長			A全長	A全長		1
8.		教師		書記	書記			第一副会長	第一副会長		2
9.				書記	書記			第二副会長	第二副会長		3
10.				書記	書記			書記	書記		4
11.		神権会音楽		B全長	B全長			B全長	B全長		5
12.		指揮者		第一副会長	第一副会長			第一副会長	第一副会長		6
13.		補助指揮者		第二副会長	第二副会長			第二副会長	第二副会長		7
14.		音楽奏者		書記	書記			書記	書記		8
15.		補助奏者		教師	教師			書記	書記		

* 地方部役員		* 宣教師		支部			家庭訪問		
1.		1専任宣教師		主事			主事補		
2.		2		第1区			第2区		
3.		3		支部長			第一副支部長		
4.		4		ホーム・ティーチング主任			ホーム・ティーチング主任		
5.		5		1. 故参者			1. 故参者		
6.		1勤労宣教師		後進者			後進者		
7.		2		2. "			2. "		
8.		3		3. "			3. "		
9.		4		4. "			4. "		
10.		5		5. "			5. "		
11.		6		6. "			6. "		
12.		7		7. "			7. "		
13.		1地方部宣教師		8. "			8. "		
14.		2		9. "			9. "		
15.		3		10. "			10. "		
16.		4		11. "			11. "		
				12. "			12. "		

支部教育委員会		教師養成委員会		建築資金委員会		支部維持委員会		福祉活動委員会	
委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	支部長	支部長
書記	書記	書記	書記	書記	書記	書記	書記	第一副会長	第一副会長
	養成委員	養成委員	養成委員	企画委員	企画委員	企画委員	企画委員	第二副会長	第二副会長
	養成委員	養成委員	養成委員	委員	委員	委員	委員	書記	書記
	養成委員	養成委員	養成委員	委員	委員	委員	委員	長老グループ代表	長老グループ代表
	関係	関係	関係	統計係	統計係	統計係	統計係	Sr.アロン神権代表	Sr.アロン神権代表
								扶助協会会長	扶助協会会長
								第一副支部長	第一副支部長
								第二副支部長	第二副支部長
								管理長老	管理長老

日 曜 学 校 M. I. A.

会 長 A 教師 子供日曜学校責任者 Y.M.M.I.A. 会長 Y.W.M.I.H. 会長

第一副会長  
第二副会長  
書記  
補助書記  
音楽指揮者  
補助指揮者  
音楽委  
図書主任  
図書係  
プログラム印刷係  
プログラム印刷係  
護美歌集保管者

教師補助  
クラス議長  
出席係  
教師補助  
クラス議長  
教師補助  
クラス議長  
教師補助  
クラス議長  
出席係  
教師補助  
クラス議長  
出席係  
求道者クラス

書記  
補助者  
音楽指揮者  
音楽委  
音楽係  
キンダーガルテン教師  
初等協会教師  
補助教師  
補助教師  
3才のクラス教師  
補助教師

第一副会長  
第二副会長  
書記  
音楽指揮者  
音楽委  
M.MEN(エムメン)  
クラス議長  
補助  
記録係  
ENSIGNS(エンサイン)  
クラス議長  
補助  
記録係  
YOUNG MARRIEDS  
スポーツ指導者  
ドラマ  
ダンス  
音楽  
演説  
聖徒の道係  
プレイヤーキーパー  
図書係

第一副会長  
第二副会長  
書記  
音楽指揮者  
音楽委  
GLEANERS(グリーン)  
クラス議長  
補助  
記録係  
LAURELS(ローレル)  
クラス議長  
補助  
記録係  
YOUNG MARRIEDS  
スポーツ指導者  
ドラマ  
ダンス  
音楽  
演説  
聖徒の道係  
出席係  
Y.W.M.I.A.M.I.F

系	図	委員	会
会	長		
第一副会	長		
第二副会	長		
書記			
教	師		
教	師		
系図	探究	指導者	
〃			
〃			
〃			
委員	員		
委員	員		
図書	係		
図書	係		
記録	係		
記録	係		

扶	助	協	会
会	長		
教	養	顧問	
仕事	指導	顧問	
書記			
音	楽	指揮者	
音	楽	委	
神	学	レッスン	教師
文学	レッスン	教師	
社会科学	レッスン	教師	
仕事	会	指導者	
家庭	訪問	教師	
聖	徒	の	道

フェ	ロ	ー	シ	ッ	ピ	ン	グ	委	員	会
委	員	長								
副	委	員	長							
書記										
補助	委	員								
委員										
委員										
委員										
聖	徒	の	道	委	員	会				
委	員	長								
委員										
委員										
行	事	予	定	発	表	委	員	会		
委	員	長								
委員										
委										

初	等	協	会
会	長		
第一副会	長		
第二副会	長		
書記			

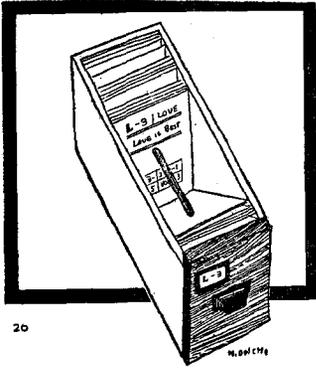
美	化	委	員	会
委	員	長		
第一	副	会	長	
第二	副	会	長	
書記				
土	美	化	企	画
屋	外	飾	美	化
土	壇	日	の	掃
生	花	の	係	
ホ	ス	タ	ー	係
ホ	ス	タ	ー	係
歌	迎	委	員	会
委	員	長		
委員				
委員				
委				
委				

コ	ー	ラ	ス	委	員	会
委	員	長				
書記						
指	揮	者				
指	揮	者				
図書	係					
委員						
委員						
委員						

老	人	の	集	い
委	員	長		
書記				

若	い	宣	教	師
---	---	---	---	---

暖	冷	房	委	員	会
委	員	長			
書記					
委員					
委員					
委					
委					



## 系図の道しるべ

### 委員の手引き

親愛なる委員会の皆さんお元気ですか、全国MIA大会の一部の時間を頂きまして八月十七日(土)に催されました、系図特別集会は大勢の方の御援助により無事終了致しましたことを厚く感謝致します。

さて、支部補助組織は全部で五部門に分れておりますが、その一部門を系図委員会と占めております。支部の五つの柱の一つです。

もう一度新に系図委員会の組織について日本系図探求要覧を御覧ください。

現在、支部系図委員として毎月催される会(出席も含む)の一覧表を作ってみました。

パウロは末日の時満ちたる神権時代に就て言っています。

それは時の満ちるに及んで表現されるご計画にほかならない。それによって神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあつて一つに帰せしめようとされたのである。(エペソ書一〇十)更に

神はわたしたちのために、さらに良いものをあらかじめ備えて下さっているのです、わたしたちをほかにしては彼らが全うされることとはない。(ヘブル書、十一〇四十)と述べて

集会	日時	担当者 (司会)	内容	備考
活動会	管理委員会による規定		ホーム・ティーチング ワーク・ナイト スペシャル・ナイト 定期的な系図の集い その他	(着眼点)死者のバプテスマ (使用時間の配分) ①自己の系図(家系)の作成 ②自己の系図の助力 ③総合(資料、郷土史、日本史、PR、ect) 主
相談会	支部指導者会		反省と計画	(今月の目標)完成シート3組
報告会	地方支部指導者会	必ず一名以上出席すること	報告とレッスン 地方部のプランに参加	
管理委員会	管理会によって定める月1度は行う			

(注) 各地方部、地区によって多少の違いはあります。

います。

一八三六年四月三日カートランド神殿に現れたエライジヤがこの時満ちたる神権時代を完結させる結び固めの神権の鍵を末日の予言者ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに与えてから教会の内外を問わず系図探求の氣運が高まり、ブリガム・ヤングが、曾て人類に与えられた仕事の内で最大なる仕事である、と言われた、神殿に於ける死者に対する救いの儀式が始められたのであります。彼は更に言葉をついで、この仕事には光明と力と榮光と善れと不死不滅がある、と言われた。

八月十七日、労働宣教師の手によつて最初に本伝道部に建つた吉祥寺の西支部で開かれた記念すべき最初の全国MIA大会に特に一時間の系図の特別大会を持ち得ましたことはほんとうに有難く又、その際米人側地方部の系図委員会々長のグローゲット夫妻が出席され副会長をされて居られるグローゲット姉妹が素晴らしい一家の記念の書を呈示していろいろ詳細な説明をして下さったことは誠に幸でした。全国から集つた多くの兄弟姉妹が尊い系図の仕事に対し刺戟され又大変参考になつたことと思ひます。

この四日間の盛大な大会を通じてこの美し

い新装の神の宮に集つた多くの兄弟姉妹が異口同音に「素晴らしい建物だ、他の建物と違う」と感歎の叫びを放つたのです。吉祥寺の駅を降りて真直ぐの道を教会へと急ぐ時、ガソリンスタンドの処から側道に入つた瞬間、白い塔と空色の屋根が燦然と輝いて眼も覚めるようである。私は今迄このような素晴らしき建物を見たことがない。それは労働宣教師の血と汗と涙で建てられたからだ、そして生ける主か聖徒たちと共に住み給うからだ、たしかに他の建物と相違している、この建物は生きています。この建物は神殿へとつながる建物である、古来この日本の地に数え知れぬ神社仏閣が並び建ち、至る処に新旧教会堂の鐘は響いたが未だ曾て神殿は建たなかつたのである。今やこの末日に神殿の先ぶれてあるモルモンの教会堂がこの武蔵野平原の一角に聳え立つたのです、そしてブリガム・ヤングが言われた人類史上最大なる聖なる仕事が始められんとしているのであります。

私はこの時に當つて一九四八年、故カウリ一使徒が格戦直後の日本に來訪されて伝道本部を献堂された時その祈りの中で予言された言葉を再び思い起して見たい。

やがて日本のここ、そこに神殿が建ち、

日本人は万国の民の内に在つて義のしるしとなるであらう。

この記念すべき全国大会は丁度終戦記念日に當つたのですが、終戦十八年目にして、今年始めて、日本側の戦争犠牲者三百万の霊を慰める大追悼会が比日谷公会堂で催され陛下自らお出ましになられて亡き靈を慰められたのであります。けれどもこの盛大な追悼会によつても、これら多くの犠牲者の霊は完全に救われないのであります。この末日に建つ聖なる神殿の儀式によつてのみ、彼らは、彼らの為に血を流された贖いの主によつて救われるのであります。そしてその救いの仕事にあづかる、特権と責任はこの生き残つた私たち又戦後この地に生れた彼らの子孫である皆さんの上にあるのであります。予言者ジョセフ・スミスは終戦後の私たちに最も適した予言的誠命を与えて下さつて居ります。

この故に汝ら戦を棄て平和を宣言し、子らの心にその先祖を思わせ、先祖の心に子らを思わせんことを熱心に求むべし。(教義と聖約 九十八〇十六)

この誠命に従ひ尊い救い主の御業に参加すべく、本伝道部の系図委員会も強化されねばならず昨春秋の大会で会長会が組織されたの

でしたが今後皆様の御協力と御支持を得たく  
一応組織内容と仕事分担を御報告致し度いと  
思います。

作成その他系図事務一般

職業、現在教会の翻訳及び建築事務手伝い

の為日中は建築事務室（港区北町六  
丁目三四番地）に出勤して居ります

二、第一副会長

遠藤文方

職務内容、会長と同じ

対外系図権威者又は諸団体との  
連絡強化、社団法人系図協会組  
織の研究準備、ソルト・レーク  
系図協会の指導後援促進

職業、大運株式会社

三、第二副会長

小泉裕功

職務内容、会長と同じ

ホーム・テイーチングの指導強  
化各支部系図委員会との連終指  
導、定期報告書（四半期）の蒐  
集

職業、現在勤労宣教師として西支部現場に

働らいていますが宿舍は勤労奉仕宣  
教師団宿舍（港区北町六丁目三四番  
地）

一、北部極東伝道部系図委員会々々長  
渡部正雄

職務内容、本伝道部内系図探求記録作成提  
出の指導奨励、各支部系図委員  
会の組織、日曜学校の系図のク  
ラス設置指導奨励、系図予算の

四、書記

渡辺輝子

職務内容、会長と同じ

記録全般、系図及び家族の記録  
の控え整理保管、ソルト・レー

ク系図協会への報告書提出、系  
図図書室の管理

職業、ポリエス油化工業株式会社

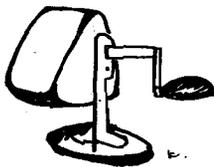
五、系図委員

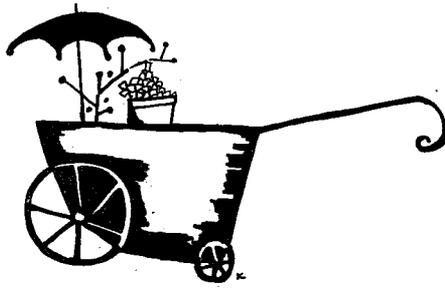
山島健嗣

職務内容、系図探求専門家で多くの経験を  
持っています。

職業、関東学院在学中

尚、広島支部の築田徳一兄弟が西中央地方  
部評議員として系図を担当して居られます。





## 子供日曜学校ガイド

11 月 用

勉強の秋、読書の秋、また実りの秋と、様々のかたちで呼ばれている。このシーズンは感謝祭を迎える時でもあります。(十一月二十一日)

申すまでもなく、私達は種々の恵み、愛、主の業を、この目で見、心から主に感謝をさげける日でもあります。

香ばしいかおりをはなつて、小さなお豆がさちんと行儀よく並んでいるトウモロコシ、流行色のダークブラウンに包まれて、チンマリすましているクリ、高い所で仲間と賑やかにホッペを赤くしている柿、野原の中で真白いスーツを着ているススキ、扇を広げたように美しいオミナエシ、これらのものを一つ取り上げて、人間には「マネ」の出来ない力を感じさせられます。

空を飛ぶ小鳥、野の草にさえも、神の愛の手がのびていることを新たに子供達に理解してもらえらる大切な時でもありますから、どうぞ良いプログラムを作ってくださいる様にお願致します。

参考として六二年度、聖徒の道十月月号を御覧下さい。

× × ×  
各支部を巡回している紙芝居が大分遅れて

るようです。どうぞ期日までに次の指定された支部に送るよう気をつけてください。是非皆様の御協力をお願いします。

× × ×

次に載せましたのは、短かいお話です。子供達が注意をさかなかつたり、どうもレッスンが巧く進まなくなつたような時にでも使ってください。ダラダラとレッスンするばかりが、また一生懸命に自分の話を聞かせようとしてどなつても効果はありません。気分転換が必要な時がありますネ。しかし、そのまゝ、主題からどんどん離れてしまうのではなく、来出だけ早く本線に戻ってください。「あなたがたは神の宮であつて、神の御霊が自分のうちに宿つてゐることを知らないのか。」(コリント人への手紙三〇一六)

### 下級用

かみさまは、わたしたち、ひとりひとりをつくらせてくださいました。おとうさまも、おかあさまも、おばあちゃんも、あかちゃんも、やつぱり、かみさまがつくらせてくださいました。このからだはとも、上手につくらせてあります。こゆびが、チョット、けが、しても、いとでも、いたですネ、おうちにいれた、チヨ

コレート おいしいなとわかります カチカチ とけいのおともきこえます このからだは どこにいてもかうことができません どんなに えらい人でも このからだは つくてくれません あなたのからだは このひろい よのなかで ひとつしかないのです かみさまから いたゞいた たいもつなからだです かみさまは じようぶな げんきのあることもがだいすきです そのようなこともになるには かみさまのおっしゃることをよくもつて りっぱな よいこになることです げんきなこどもになるのは すききらいがあつてはだめですネ サア今日からは ひとつ ひとつ それを すくなくしてゆきましよう お約束しましよう!

——中級用——

昔の人が云つたことばの中には、とても、意味の深いものがあります、その中に「桃・栗三年、柿八年」とゆうのがあります。これは、桃・栗は植えてから三年たつと、おいしい実がなりますヨとゆうわけです。或る人が柿を植えました。柿は八年たつて、やっと実がなりました。桃・栗からくらべたら、ずいぶん長いですね。こゝでこんなうたもあり

ます。「しぶ柿や丸八年のおんしらず」柿をうえた人は、とうとうこんなおいしいそう実をつけたと、大喜びで、ガブリと一口たべました。次のしゆんかん、ペーツ、とはきだしてしまつたのです。せつかく八年間も大切に育て、きたのに、ほんとうに残念なことには「しぶ柿」だつたわけです。

私達もこれまで大きくなるのに、お家の方々や皆さまにお世話になりました。そして、神さまが常に見守つていてくださったことも忘れてはなりません。信仰のおいしいみをつけなかつたら神さまは、とてもがっかりなさいます。甘柿をみるたびにイエス様の教えをよく身につけて、しぶ柿にならないよう福音を学びましよう。

——上級用——

「見よ、兄弟が和合して共におるのは、いかにうるわしく楽しいことであらう」

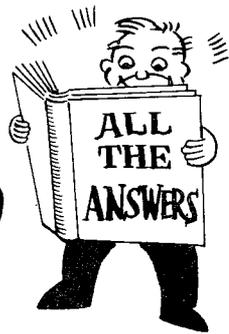
(詩篇一三三〇一)

「ホームシック」この言葉の意呼わかりますネ、私たちは、ふだんあまり家について考えませんが、修学旅行や、キャンプ等において、しばらく家を離れると、急に家が恋しくなります。けんかばかりする弟でも

とてもなつかしく、今頃どうしているかなーお父さん、お母さん、あゝ、皆な何をしているかなー、と。とてもなつかしく、やっぱり家が一番いゝとわかるものです。この家庭こそ神さまが私達に与えてくださった賜ものなのです。あなたがたは家庭がどのようななりたっているか考えた事がありますか。

誰が家の中心か、家族の一人一人のもつ責任は、お父さんは何県の人か、お母さんはどこからお嫁に来たか、おじいちゃまの生れた家は、このように調べてみるとイエスさまと同じように系図もわかつて来ます。昔の事柄をたくさん知ること出来、同時に今、あなたがこゝに居ることの意味も判りますでしょう。あなたのこれから先、十年先、二十年先のあなた、家はどうなるであらうか?などもさつと、あなたがたの御両親は、あなたに、「神さまの教えを守って人々から喜ばれるよいうな人になって欲しい」と願っていることではありません。どうぞ、神さまからいたゞいたこのホームの中でお父さんお母さん、そして、神さまを安心させてあげられるよいうな人になってください。

# MIA Leader



## MIA 全国大会後記

地は北海道、南は沖縄の各地より、兄弟・姉妹またお友達の方々が沢山、MIA 全国大会に参加下さいまして、本当に有りがとう御座居ました。役員一同、大会前日は、はた

してどの位の人数が集るだろうか、大会会場が、ガラ空きの状態ではないだろうか、等と不安な想像をめぐらし、寝れない一夜を過ぎて大会を向えました。しかし朝から休むひまのない程の電話の応答に、嬉しい悲鳴をあげた私は、全国各地のMIA会員の皆様の協力が、はつきりと私の体に、つたわって来ま

した。「大丈夫」と言う自信を持った時は、開会式にのぞんで、各地より、色々な問題のりこえて出席された兄弟・姉妹・お友達の方々に接した時でした。本当に、大会に出席して下さって有りがとう。私は、唯「有りがとう。」と言う言葉しか言えません。各支部の人々々々、何のお手伝もしてあげられません。でも、あんなにも沢山の人達が、若い人達が、新しく建築された西支部の会堂に集って下さいました。私達が大会を開ける様に急ピッチで日夜仕事を続け、完成を急いで下

さった労働宣教師の皆さんにも心より感謝致したいと思ひます、あの白く美しく、新しい私達の教会堂で、第一回のMIA 全国大会に参加した事は、私の生涯の素晴らしい思い出と歴史の一頁になりました。少し残念なことは東京の兄弟・姉妹の参加の少なかつたことでした。

大会四日間の日程が無事に終りましたことは、ひとえに、全国各地の皆様の御協力にあってのことと、今、誌上をお借りして、心より感謝致したいと思ひます。亦各地方部長、支部長の皆様の強力な御援助のありましたことを心より感謝致します。

大会中不備な点が、多々ありまして、御迷惑をおかけしたことが多分にあると思ひます。何分にも最初のことで、役員もなれておらず、手違いも多いものでしたから、その点は何とぞお許し頂きたいと思ひます、また、大会の日程、營運方法、プログラム、宿泊の問題などにつきまして、改善すべきところがありますことを反省しております。次の機会にはそれらの点を充分に改めて、より進歩した、大会を持ちたいと思っております。つきましては、MIA 全国大会について皆様の御意見を、おききたいと思つて居ります。支

部あてに、MIA事務局より。大会アンケータの用紙を発送致しましたので、支部内皆様の御協力を是非お願い致します。

再びここに皆様の御協力和大会参加下さいましたことを心より感謝致します。

(佐藤栄子記)

◎大会に参加された方で感想をお寄せ下さいます方は、原稿用紙二枚にまとめて、MIA事務局へお寄せ下さい。

◎大会中に写された傑作写真を聖徒の道「MIAリーダー」に載せたい方は、写真を手札位の大きさにしてMIA事務局へお寄せ下さい。

## 教師養成用レッスン

良く教え、指導する為の六つの基本的標準  
第五課 (七月号からの続き)

生徒の全員に教えなさい

この続きものの第二課で、私達は人間の性格―本性―に就いて話合った。特に重点を置いた処は、所属感、創造力豊かな自己表現、自認等の精神的な欲求であった。他人の行動に影響を与えようとする人なら誰でも、若し彼等の精神的な欲求を満足させる手助けをし

てやるならば、それだけが成功の道となるのである。

では、これ等の欲求の一つ―自尊心、自己承認等―を例にとり、我々の生活を顧みてみよう。我々は他人を軽んじたり、批判したり嘲笑したりする人を嫌う。何故なら、それ等は我々の自尊心を傷つけ、おびやかすからである。他人を賞讃したり、挨拶をして呉れたり、喜ばせて呉れる人は好かれる。何故ならそれ等は我々の自尊心を高めて呉れるからである。

私が八・九才の少年であった頃、近所の法律家の為に働いた事があった。彼はありったけの愛意を声に込めて「よう、大将」と私のことをそう呼んだ。或る日、彼はこう云った「あなたが私の為に働いて呉れるばかりでなく、私の幼い息子のジョン(私より三つ年下であった)もあなたのそばに居られて大変嬉しい。」彼は私の父にもこう云った「あなたの息子さんは良い頭脳をお持ちですね。」彼はこれ等のことをお世辞で云ったのではなかった。彼は子供達を愛し、私も愛して、呉れた。これは彼の一貫した主義であった。彼は私との人間関係で極めて効果的な態度であったので、私は彼が好きになり、尊敬し

た。私は時には、彼の為に仕事の鬼ともなった。私は彼を喜ばせようと務めた。私は今日まで、彼が私に云った多くの事を覚えていゝる。それ等は私に深い感銘を与えた。何故なら、私は彼が大好きだったからである。亦、彼は私に私自身の価値を感じさせて呉れた。子供達は彼が尊敬し、愛する者達から出た言葉を用いて従うようにまでなったが、彼の好かない者からの言葉は―たとえ深遠な真理を含んでいようと―誰も信用しない程になったのである。

それ故、教師や指導として、性格や行動に影響を与える際には、全ての生徒を教師と生徒の一体の関係として取り扱わなければならない。

代りのことを教えなさい

・福音に生きるよう人々を活気付ける際、直接、説教をしても時には効果があるが、大抵限度がある。人間には自由意志がある。何を為さべきかを話されて不愉快になったりする。これは老若男女を問わずあるもので、云った事と反対の行動を起したりする。子を持つ親は心しておくとい。直かに道徳的なお説教をすると、自由に物を感じたり、創造しようとする意欲が失なわれてしまう。

直接近付いて行って、道徳的な影響を与えようとしても、それには別の限界がある。人間には自分自身を理解したり、何を必要としているかを知ろうとしても出来ない時がある。人間の生命はそれ程複雑であり、「直接攻撃」で人間を改造するのは非常に困難である。教師が彼にくどくど説教している間、彼はそれを受け容れまいとして益々努力するのである。

イエスや聖書の著者達、釈迦のような偉大な記録に残るような教師は、物語りや喩え話の語り手でもあった。物語りや喩え話はそれこそ絵画のように具体的に生き生きと語られている。それもあたかも鏡のように、混乱した各個人のイメージとは違った客観的なものである。然も、個人の生活と喩え話の中で顕わされている生活とは極めて似ているものである。

ナタンが罪ありと直接ダビデの処へ云って来ると、王は大いに怒り、弁解をし、最後にはその「出しやばりな予言者」を大いに憎んだが、ナタンがダビデの大いなる罪を客観的に喩え話を引用して説明した処、ダビデは彼の罪を深く認め、許しを請うたのである。(サムエル後書11/12章と詩篇51章参照)

(来月号に続く)

(佐藤襄二訳)

## 一月二日 一般活動「新年会」

来年のことを言うと言われ笑うと言われているが、MIA役員の皆様は、もう「新年会」のために計画、準備を、はじめなければ、なくなりました。十一月に開かれる支部役員・教師会の時に、次にあげる年令別一般活動と共に計画をはじめてください。此の日は開会行事、閉会行事をのぞいたすべての時間を使用することが出来るのですから、良いプログラムを作りましょう。

支部会員の皆様に招待状を送りましょう。新年ですから、年賀状にするのも面白いことでしょう。日本の古来からの遊びが沢山あります。それらを上手に組合せて楽しい会を計画しましょう。また「春の海」等の琴や、尺八の調べを聴いたり、日本舞踊を見るのも、新春のよろこびを感じひとときです。

リフレッシュメント、扶助協会の方々の協力を得て、おぞうにやおしること出しては如何でしょうか。おもちは皆様で会に来る時二つ三つ持ち寄ったら良いでしょう。

雪国の各支部では、もっとも楽しい計画も出来そうですね、夜おそく帰るのがたいへん

ですから明るいうちにMIAを開くことが出来るでしょう。特にお正月四日位迄は会社もお休みのことでしょうか。午後MIAを開くなら、屋外の雪なげなども、取り入れられる。ゲーム一つではないでしょうか。また時間をきめて、誰れが一番先に大きな雪ダルマ作るかと言う競争も出来ますね。

会の責任は会長にありますが、クラス・リーダーやグループ・リーダーは実行委員として、会長会の方々を助けて下さい。

## 一月九日 「エンサイン」

すでに第二回目の活動計画に入って居ります。十二月十二日一年間五回ある活動計画について準備・計画したことを此の日から、やりはじめるのですが各支部のエンサインの皆さんは、どんなプランを立てたでしょう。エンサインの旗のもとに誠実と実行を持ってすれば、何ごとも成功することでしょう。近い支部同志で手とり、協力すると、もっと素晴らしい活動が出来るかもしれませんね。

## ローレル

ローレルのやらなければならぬことは、一年のうち「愛の真珠」「智恵の真珠」「美の真珠」をつけることです。エンサイン

・ローレルの手引き108頁及び111頁115頁を参照して下さい。ジュニア・ローレルや、ジュニア・ローリエイトなどの資格やクラスが、まだ本伝道部にはありませんので、そのところを使用することは出来ませんが、「愛の真珠」や、「智恵の真珠」「美の真珠」がそれぞれ、どう言うことで、如何なる目的を持ちどの様にそれを行うかと言うことについては知ることが出来るでしょう。それぞれの真珠の中で12項目づつ要求されていることを、一つづつ、二つの真珠の中より選び三ヶ月間、このことを一生懸命やる、次の三ヶ月には、亦違った項目を二つ選び出して二つの真珠をとる。各真珠の中から一年間に二つ以上のものが選ばれていなければなりません。

各支部のローレル指導者は、彼女達が、それを誠実に言うよう、指導し、また相談相手となるべきです。ローレル・カードが近いうちに出来ます。すべてのクラスのローレルはそれを購入して下さい。

## 一月廿三日「年令別クラス」

### 一般活動

ヤング・マリー「ベビーとパパとママ」

結婚した若い夫婦の家庭には、やがて可愛

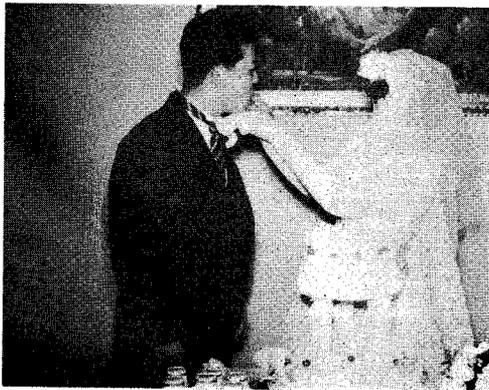
らしいベビーが仲間入りする。経験もなく、おろおろとする母親、ただ、やたらにだいてみたい父親、本当に初めての赤ちゃんにはとまどうものです。しかし、スヤスヤと眠っている顔、うれしそうな笑顔、小さな、小さな手泣き顔さえも、いとしいものに思われる可愛い赤ちゃんは、幸福な家庭のシンボルです。しかし、世の両親とは別に我々モルモンには、両親に与えられた神からの言葉があります。すなわち、「また両親はその子供たちに祈ること、主の前に正しく歩むことを教えざるべからず」と。我々には次の世代へ主の光明と真理とを伝えなければならぬ大きな責任が与えられているわけです。

さて、此の日のプログラムは、時間も充分あります。面白く、愉しい雰囲気を持ったものにしませう。何か寸劇をやっても良いですし、経験者の話を聴くのもよいでしょう。また、お互の意見を述べ合う討論会や座談会も良いでしょう。或は皆で育児の勉強するのもよいと思います。支部内或は知人に、お医者様や看護婦さんがいるなら、その方々に協力して頂くのも良いプログラムと思います。赤ちゃんのオムツのあて方や、お風呂屋の入れ方など、やがてパパとなり、ママとなる若

い夫や妻が練習することも良いでしょう。これらは、練習しておいて無駄なことではありません。支部内に赤ちゃんを持っている家庭があれば、参加して頂くのもよいですね。色々な経験談が聴けますよ。

最後に教義と聖約68章25節〜30節及び93章42節を読むことを忘れないで下さい。

Mメン・グリーナー「花嫁と花ムコの夕べ」



昨年此のプログラムは、ありましたね。Mメン・グリーナーは、やがては自分を訪れる人生最良の年を考えていることでしょう。

楽しいプログラムとして此の日の催しが多くの人の期待のうちに向えられるように計画すべきです、また支部内の若い人達にMIAに集う様に呼びかけるための、よい機会にもなることでしょう。

まづ、充分な宣伝と準備が、必要です。Mメン・グリーナーのクラス・リーダーは、クラスの中から委員を選んで準備の手伝をして頂くとうい。此の日は各年別で、一般活動があるので会長会は、分れて責任を持たなければならぬし、役員教師も、各クラスの分れるので準備を手伝う役員は、普通の時一般活動の%になつてしまふし、クラス・リーダーの責任は重大になってきます。クラス書記やクラス・リーダー補助の方に手伝つて頂くとうい。

YW・YMの各会長は、三つの年令別クラス一般活動の総括責任者となります。おののプログラムを関係責任者と共に集り、計画・準備すべきです。

此の日のプログラムに提案される面白い劇があります。「求婚に来た男」という劇で、小作ですので一時間三十分の上演出来ます。

一九五七年―一九五八年に出版された「MIA演劇脚本集」の中に、チャールス・F・

フラッド作として載っています。古い会員の方は持っているでしょうし、伝道本部に、まだ在庫があります。価格は八十円です。これとは別に、同じような題で（ストリーも似ている）市販されている脚本もあります。

その他に、色々な計画があると思いますが結婚式のデモスト・レーションを行つて、皆で、結婚」と言うことについて討論するのもよいでしょう。昨年の提案事項も参考にして下さい。

エンサイン・ローレル・キッチン・カーニバル  
今年も、この最高に面白いキッチン・カーニバルがやつて来ました。昨年、一度やつたので、このプログラムの面白さが、わかつているでしょうね、今年もローレルの為に一つの提案プログラムがあります。ファッション・ショーを開いてはいいか？ 台所にあるものを必ず使用したファッション・ショーです。帽子のファッション・ショーだと面白いアイデアが沢山出て来るでしょう。おなべを、

かぶる人、ザルをかぶる人、買物カゴに飾りをつけて無理にかぶる人。想像しただけでも笑いがこみあげてきますね。お食事は、やはり、「ゴチャマゼなべ」が適當の様ですね。大きな、おなべを用意して、皆で野菜を持ち

寄り、お肉を少し、役員は買つておいて用意しておいて、全部おなべの中で、ゴチャゴチャと煮ます。醤油、砂糖、或は味噌などで味をつけ、あついでところを頂く、冬の夜には、これがいいですね、おうどんなどを入れたり食べのこしの、お正月のお餅等も入れて「ガラウドン」を作るのもいいでしょう。こんなことを書いていたら、私も貴方の支部へ行つて、エンサインやローレルの方の仲間入りがしたくなりました。

#### 書記の方へ

今年度の記録簿は在庫の都合で昨年度と同じ様式のものを使用します。新しくヤング・マリイが出来たのですが、一つ蘭を加えて記録して下さい。来年度からの新しい様式の記録簿が出来ます。

MIAレポートは必ず五日迄にMIA事務局へ、来月号から聖徒の道に、レポートを提出しなかつた支部と、日迄に遅れた支部の名前を発表します。また、支部の出席状況もグラフで発表します。

#### お知らせ

◎MIAテキストが全部出来ております。クラスの人に紹介して、購入して下さい。（お金を添えて道本部へ）

Mメン・グリーンナ用テキスト

「我等指導者の言葉」 価格二百円

エンサイン・ローレル用テキスト

「我等は信する」 価格二百円

ヤング・マリイ用テキスト

「宗教・文化・そして社会の中心にある  
末日聖徒の家庭」は各クラスの人数と教  
師用の数をまとめてMIA事務局へ報告  
して下さい。今年度は、クラスの人数も  
少ないので毎月発送致します。使用するテ  
キストは二ヶ月前に到着します。

◎MIAリーダ10月、11月、12月用は、各支  
部MIA会長あてに発表されました。MIA  
A役員は一部ずつお受け取り下さい。今後  
聖徒の道のMIAリーダには、プログラ  
ム予定より三ヶ月早く指導者提案事項が載  
ることになります。

◎各支部にMIA事務局よりアンケート用紙  
が送られました。各支部のMIA会長は同  
じものを自分の支部で必要枚数だけ印刷し  
て、支部内の皆さんに答を書いて頂いて下  
さい。アンケートの用紙は支部ごと(個人  
人でなく)一括して、MIA事務局へ御送  
り下さい。

## 編集だより

ずい分まえから、今年の秋の訪れは早い  
と気象台の予報官がいつていました。幸い  
その予報が当たって残暑もきびしくなく快  
に暮すことができました。なんでも予測して  
いたことがびたりと当るの  
は楽しいものです。さてそ  
の予測がはずれて、原稿が  
多すぎて、編集後記が二ヶ  
月ばかり載せることができ  
ませんでした。いい訳は、こ  
れぐらいにして。

▲最近原稿のメ切り日を守ら  
れておりません。とくに支  
部だよりなど、ベ切日にお  
くれながら「どうして私た  
ちの支部だよりは載らない  
のですか」とおっしゃる。  
そういう方に次のことをお  
知らせします。

原稿ベ切日は毎月五日  
五日以後の原稿は翌月に  
廻すこととなります。

▲そして「たしかに期日に  
着くように出したのですが」とおっしゃる  
方に、

あて先は、東京都港区青山北町六一三四  
末日聖徒イエス・キリスト教会  
聖徒の道編集部

伝道本部に送りますと、回送しているう  
ちに時間がかかってしまいます。

▲到着した原稿は、整理し割りつけるので  
すが、ここで困るのが原稿用紙に書いてな  
い原稿です。いちいち編集部で原稿用紙に  
書き写さねばならないですから、便さんの  
お好きな方も、

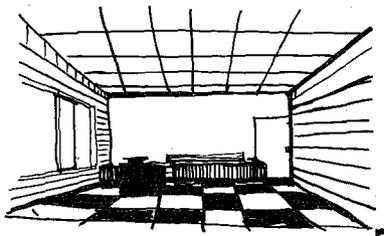
原稿は四百字結原稿用紙  
に

▲写真を送っていたり時  
ネガだけの時があります。  
たとえ密着焼でも結構です  
からボジも同封してください。  
い。いちばんいいのは、キ  
ヤビネか手札に延したのを  
送っていたりすることです。  
なお返却要求の時は裏側に  
朱書をしてください。

写真はキャビネか手札で  
▲予約希望者が少くなつて  
います。が、聖徒の道の予約  
値段は次の通りです。

一ヶ年 九一・二円千共  
半ヶ年 四五・六円千共  
なお一部七十円です。予

約される方は支部聖徒の道委員、支部長に  
申し込んでください。(K)





ペギー・ヒュイシ・アンダーセン姉妹

「若い女性の受ける祝福」

子供は母親の感化をそっくり受けるものだ

世の父親がどんなに優しくしても

おさない心を自分のようにすることはできない

ウォルター・サヴェージ・

ランドル

「いまここに引用した一節がほんとうなら、私たち扶助協会の姉妹にとってこの「母性」という貴い召しに應ずる用意をすることこそまことに必要ではございませんか。また、ご存じのように、生れてから五、六才になるまでが人間の性格をきめる一番大切な時であるならば、幼な子を早いころから正しく導びくということはきわめて大切なことであります。ブリガム・ヤング大管長は「すべての母親は神のつかさどりたもう原動機であって、あらゆる国民の将来を指導する」とおっしゃいました。それでありますから、私たちはこ

のことはを考えて、主婦としてまた母親としてもっている現在または将来の仕事に、どのようなねうちがあるかをきめなくてはなりません。そして、次の時代は若い人々の手の中にありますので、私が今話しかけている相手は教会の若い女性の方々であります。

若い女性は昔からいつも人類の将来をつくるために大切な役割を演じています。かつて若い女性たちは、その夫たちの自由を求める叫び声にこたえて、将来どうなるかわからないのに長い困難な航海をへて「新世界」へやってきました。そして、生活に必要なものが最も欠乏している状態でニューイングランドのきびしい冬の困苦欠乏に耐え、アパラチアン山脈をこえて西の方へ移住し住む人のないさびしい地方へ入って行って寒気と飢えと病気による死のかけのちでくらししました。もっとあとになると、信仰のために野をこえ山をこえ、最も愛する者を踏みつけ道の沿道に埋葬してのこしながら大ソルトレークの盆地へ団体移住をしてまいりました。これらは若い女性がその当時の幾多の挑戦に立ち向って勇ましく戦った二、三の例にすぎません。私たちが現代の挑戦に立ち向うことができるし、また立ち向かわなければなりません。勝利者に与えられる栄冠はいつもおなじであります。ただちりばめてあるものが変わるだけではありません。

エマーソンはかつて「成功はあらゆる正しい足あとをふむ」と言いました。だれよりもまず私たち教会員は正しい手段方法をとらなくてはなりません。それでこの目的のために扶助協会が組織されたのであります。ジョセフ・F・スミス大管長は、もしも教会の若い姉妹たちがみなこの組織に入るなら扶助協会は偉大な組織になるであらうとおっしゃいました。

「私たちは若い女性たち、聡明な女性たち、信仰と勇氣のある清い女性たちがシオンの各ステーク部とワード部にある扶助協会に加わることを望む。私たちはその若い女性たちがこの働きを活氣と聡明と一致協力を以て把握することを望む。それはシオンを強化し、女性たちに各自の義務、すなわち家庭と公けの場における義務と各自の肩にかかるあらゆる義務とを教えるためである」(福音の教義 千九百五十六年版 三八七頁参照)。

私たちの教会の若い女性の方々が、扶助協会に入って熱心に働らきそれによって得られる祝福を受けるならば、みんな偉大になるにちがいないと本当に言えると思ひます。

千八百四十二年に、教会の姉妹の方々が婦人の団体をつくる目的で、規則と内規とをもって予言者ジョセフ・スミスのところへまいりました。そのとき予言者は、その規則と内規とはいままでに見たこともないほど立派なものであると申しました。予言者はそう言うてから、さらにことばをつづけて「しかしこれはあなたがたの望むものではない。教会の姉妹たちに告げて、主なる神は彼らのささげものを受け入れたもうた、また主なる神は成文となつた規則よりももっとよいものをもちたもうと言ひなさい……」と申しました(扶助協会百年記念 一十四頁参照)。

千八百四十二年三月十七日、予言者ジョセフ・スミスは「神権者の手本にならつて」扶助協会を組織しました。そしてその年の四月、予言者は姉妹たちにもう一度会い、その時に次のように申しました。

「これは慈善の団体であつてあなたがたの特質に一致している。すべての女性が慈悲と慈善の感情をもつことは自然である。あなた

がたは今や、神があなたがたの胸にうえつけておきたもうたこれらの同情心によつて行動することのできる立場に置かれてゐる。

もしもあなたがたが、これらの原則をふみ行なうならば、あなたがたの良い酬いは、日の栄の王国において本当に大きくかやかしものであるにちがいない。もしもあなたがたが、各々の特権を行使しにあらわすならば、天の使者はあなたがたの共同者にならずにはおかない」(教会記録歴史 第四卷六〇五頁参照)。

予言者ジョセフ・スミスがおつしやつた女性の性質をたたえることばは、私たちの各々にある胸の糸に触れるものがあります。予言者は慈悲と慈善は既婚の女性だけがもつてゐるとは言ひませんでした。年配の女性だけがもつてゐるとは言ひませんでした。また若い女性だけがもつてゐるとは言ひませんでした。このような特性は独身の女性も、花よめも、母親も、祖母もみんなもつてゐるものであります。もしも私たちがこの特性を養ひ育てるならば、同情をもつこと、真理を愛すること、美しいものを賞でること、すべての子供たちを愛し、親切で寛大で思いやりがあり誠実であることはすべて私たちの天性に應じてあらわれるのであります。しかしこれらの性質が完全の域に達するには烈しい努力と注意とがいるということに私はすぐ同意いたします。それが容易でなくても、私たちは幸ひにもこの方向へむかつて進めという心の方がしをもつて居ります。

人生の旅路はひじょうにおもしろくてたまらないものであります。そこには多くの困難が満ち充ちて居ります。扶助協会は、この旅行が成功するように私たちに力を借すため、靈感によつて組織された大切な乗物であります。それは、この扶助協会の助けを借りずして人生の旅路に出かける女の人は、近代の交通機関を利用しないで

徒歩で何百マイルという道のりを旅行する人にくらべることでできるからであります。このような人は疲れてはて目的地へ着かないかも知れません。たとえ着いても、疲れているだけ、歩かないで行った人よりも負けているかも知れません。それにもかかわらず、現代の若い女性たちは「徒歩」でこの全く大切な人生の旅路に出かけているのであります。

扶助協会は、まだ若いうちに、私たち自身と私たちの最も愛している者たちの生活を正しくつくる力を借すために創立されました。また私たちが天にまします父なる神さまのみもとへ楽しく良い酬いを得て帰って行けるために、また私たちの「到着」を大部分保証するために立てられました。ブリガム・ヤング大管長は教会の姉妹たちに「……これらの団体はわれわれの行儀作法、われわれの衣服、われわれの習慣およびわれわれの生活法を改善するためのものである……。あなたがたは、イスラエルの中の母親や娘たちが為すことのできる善い事の量を言うことができるか。できない、それは不可能である。そして彼らが為すところの善い事は、永遠にわたり彼らにつき従がうにちがいない」(ブリガム・ヤング説教集「二一六頁参照」とおっしゃいました。

これが扶助協会の目的であります。扶助協会は本当に「別の」婦人たちの組織でなく、あなたがた自身の組織であります。千九百四十二年七月三日に大管長会が書いておられますように、

「われわれは、扶助協会の姉妹のかたがたに、この扶助協会が全世界の中の独特な組織であることをけつて忘れないようにしていただきたいと言う。それはこの扶助協会があの大言者にさすけられた靈感によって組織されたからである。……全地の中にある婦人

の組織でこのようにして誕生したものは一つもない」(扶助協会百年記念「七頁参照」)。

イエス・キリストの福音は「受ける」だけの福音ではありませんので、私たちは各自が時間と才能と指導と奉仕と物質とを「与える」ことを期待されて居ります。私たちはそうすることにより、信仰と証詞と機会と成長と導びきとを「受ける」ことを保証されます。「私にもくごさい主義」の現代において奉仕をしたいと思っている誠実な婦人がさしせまって必要であります。すなわち一般人類の救いと、一人一人の人間の昇栄とがさしせまって必要であります。扶助協会の「慈善は決しておとろえない」という標語は「与えること」と「成長すること」とをたっぶり含むように努めてあります。

扶助協会は、それが啓示によって創立され神権者の導きにくぐまれているというわけで、婦人の団体として独特なものであるという上に、「扶助協会はもう一つひょうに大切な点で、すなわちそのプログラムの量と多様性で独特であります。あなたは、予言者たちがはつきり言っている「その会員すべての一般的必要を十分に満す、知性と教養と霊の価値とを見出すことのできる同じような組織の名を挙げて言うことができますか。社交のグループ、友愛のグループ、利他主義のグループ、文学、神学、音楽そのほかのグループの会員になるときは奉仕と学習と成長の機会にめぐまれます。扶助協会は神権者の導きを受けてすべてこれらの機会を与えているのであります。私たちはこれまでに「扶助協会の会員は、協会の仕事をさまたげたりまたはじゃまをしたりするほかのことに携わってはならない。会員はあらゆる社交活動やほかの活動をするクラブおよびこれに類する団体にさきんじて扶助協会に奉仕をしなければならな

い」と勧められています。

それでありますから、もしもそうすることによって「天の使者があなたがたの共同者にならずにはおかない」なら、そうして悪いはずがないではありませんか。よく訓練された「シングングマザー」コーラスの一員になることによって身も霊も成長しない女性のかたがあるでしょうか。本を読み研究をしはげましを与えるレッスンをする準備をすることによって成長しない女性の方があるでしょうか。聖典の勉強を終るに当って熱烈なけんそんなあかしを聞くとき、感動を受けて力づけられない人があってはいかがでしょうか。私たちのうち一人でも、もっと有能な働き手、組織者、計画者、実行者になる方法を学ぶことが大切である認識に欠けているでしょうか。だれか困っている人を助けたとき、または同情のある奉仕によって助けを受けたときに、人は奉仕をする者にも奉仕を受けるにも与えられる大きな感激と祝福とを否定することができませんでしょうか。全く公平に言って、私たちはこれらすべての質問に対して声高く「否」と答えるほかはありません。

人生には多くのことがありますが、扶助協会のプログラムに対してできるように、女性のかたが自分の努力はしっかりした基礎の上に立って指導を受けているのだという確信を以て、十分自分の勢力をささげることのできるものはわずかしかりません。若いうちに主なる神とその目的とを探り求めることが大切であるという訓戒とたとえ話とは、聖典のいたるところに述べてあります。扶助協会の働らきについてもその通りでありまして、まだ若いうちにそれを見つける人は永久に利益を得るのであります。

私たちは予言者ジョセフ・スミスの訓戒と指導とを受け入れて

「私たちの特権を行いに」あらわそうではありませんか。私たちは「私たちの性質に一致している」特性の中にある正しい性質を私たちの内に増すように精出して努めましょう。主なる神さまがその正しい娘たちに約束なさったいろいろな祝福は、その時私たちのものとなるにちがひありません。

私たちは今「完全な福音」が回復されたかがやかしい時代に任んで居りますが、悪の力はいたるころ私たちのまわりにあります。私たちはあらゆる用心をして義と信仰のよろいをつけなくてはなりません。教会の若い姉妹として、私たちは人生を正しく把握するために手をさしのべ、義の大事業が栄える力を借すことに喜びと興奮を感じたいと思います。教会の若い姉妹たちは人生について樂觀的な考えをもち、私たちの気高い先祖がもっていたと同等の勇氣と忍耐とを示さなくてはなりません。私たちは今までに神の予言者たちから、この「神権時代」に生れてくるために多くのすぐれた霊がとっておいてあると聞かされています。私たちは救い主の再臨の前であるこの時代に生を受けた特権を喜んで、そのかがやかしい達成にむかって私たちの努力をささげようではありませんか。

私は扶助協会の若い姉妹の一人として、一人の人間の生活の中に扶助協会を見出すことができるのは大きな祝福であり力であるとあかしいたします。そして、全教会の若い女性がたが、教会の兄弟たちの与えた訓戒をすなわち、この靈感によって組織された扶助協会の働らきを通して約束された多くの祝福を受ける位置に、自分自身と自分の最も愛する者たちを置くことに心を留めるようにお祈りいたします。」

(扶助協会中央管理委員会々員、ベルヴァ・パローウ姉妹)



母親ルシイ・マック・スミスの語る

# ジョセフ・ スミスの生涯 (十二)

## 第二十二章 ジョセフ・スミス(二代目)金版を

手に入れる

九月の二十日、ナイト氏とその友人ストール氏の二人は私たちがストッダート商会の件をどのように処理しているか見にやってきました。そして私たちの家に二十二日までとまって行きました。

註。ナイト氏とストール氏の二人はジョセフ・スミスにあの金版が渡されたちようどその日にスミス家に居たので、ジョセフがこの日に金版を受けとるはずであるということを知っていたと、人は信ずる気になるであらう。

二十一日の夜、私は仕事がいそがしくて手をはなせなかったのでおそくまで起きていました。そして十二時になってもまだおきていますと、十二時ごろにジョセフが私のところへきて、お母さんのところに錠前のついた箱がありました。私はすぐにジョセフが何のために箱を欲しがっているか解りましたが、箱がないので大へんおどろきました。今こそ大切な瞬間であるかも知れないと思ったからであります。しかしジョセフは私が心配しているのを知って「お母さん、かまいませんよ、今のところそれがなくても大へん旨くやることができます。おちついて……みんな旨く行っています」と言いました。

それから間もなくジョセフのよめがボンネット(ふちなし帽)と乗馬服とをもって私の居るところを通りすぎて行きましたが、数分のうちに二人はナイト氏の馬がついている馬車に乗って、一しよに家を出て行きました。それを知った私は心配で心配で眠ることがで

きず、神さまに嘆願の祈りをささげて夜をあかしました。朝になって、いつもの時間に朝ごはんの支度をはじめましたが、人の足音が聞こえるたびに胸がふるえました。ジョセフとエマが今帰るか今帰るかと思っている上に、ジョセフがまた失望するような目に逢いられないかと心配していたからであります。

家族の中の男たちがみな朝食の席についていたとき、私の夫がジョセフはどこに居るのかいとたずねました。夫はジョセフが家を出て行ったことに気がつかなかったからであります。そこで私は、今朝はジョセフに妻と一しよに食事をさせたいから呼ばないで下さいと言いました。すると夫は、

「いやいや、どうしてもジョセフにここへ来て一しよに食事をさせなくちゃ」と言いますので私は、

「まああなた、今朝だけはほんとに二人でいっしょに朝ごはんを食べさせたいのですよ。たいていいつもあなたは一しよに召しあがっているんじゃないか」とつづけて言いました。

それでとうとう夫は私の言うことに同意して一人で食事をし、ジョセフの居ないことについてはもう何も聞きませんでした。それから二分か三分たつとナイト氏が全く心配な様子で入ってきました。そして、

「おやスミスさん、私の馬がどこかへ行つてしまいました。屋敷の中を探しても居りません。ところが私は三十分以内でここを立つて家へ行きたいのです」と大きな声で言いました。そこで私は、

「馬のことは心配なさいませぬ。ナイトさんは牧場のすみずみまでご存じありませんからウイリヤムを呼びましょう。今すぐ馬をひっぱりてきますよ」

と申しますと、ナイト氏はさし当り満足しましたがじきに別のものと見つけました。ナイト氏の馬車も見えなくなっていました。そこでナイト氏は、これはだれかごろつきが馬も馬車も盗んだにちがいないと結論しました。それで私が、

「まあまあナイトさんおしずかに。あなた御自身に世話を焼かせましたらお恥ずかしゅございますわ。ちよつと外へお出ましになつてウイリヤムがまいりますまでうちの主人とお話しなすつて。ほんとお帰りにならなければならぬなら、すぐ馬をつれてまいりますして立派にお帰えりになるようにいたします」と申しますと、ナイト氏は私の言うことを聞いてそへへ出て行きましたが、そのうちにジョセフが家へ帰つてまいりました。

私は、神さまの誠命を聞かなかつたためにみんななくなつてしまつたのではないかしらと思つて、心配のあまり体がふるえて仕方がありませんでしたので、感情をかくすために別の部屋へ行かなくてはなりませんでした。するとジョセフはこの様子を見て、

「お母さん心配せんで下さい。みんな行く行つています。これをごらんなさい、私は「鍵」を手に入れましたよ」と言いました。

註。ジョセフが母親に見せたこの「鍵」は「ウリムとトミム」であると信じられる。

私はジョセフの言うことが何のことかわかりませんでした。彼の言つた品物を手にとってそれをしらべました。彼はそれからそれを私の手からとりあげて部屋を出て行きましたが、金版については一言も言いませんでした。

間もなくジョセフは戻つてきまして、箱を造つてもらえませんかと私にききました。それで私は、前に一番上の娘のために家具を造

ってくれたことのある或る指物師のところへお行き、箱のお金は前に家具を造ってくれたときのように半分は現金で半分は農産物で払うと言っておくれと彼に話しました。

ジョセフは、それではそうしますと言いましたが、家の中には一シリングもなかつたのでそのお金がどこから出てくるのか知りませんでした。

註。このことばによって、ジョセフがモルモン経の版を受けた當時のスマイス家の経済状態がはっきりとわかる。

そのあくる日になりますと、ワナー氏という人がまいりまして、マセドンに住んでいるウエルズという人のやもめが井戸の仕事をする人を探しています、もちろんお金を払いますが、ぜひジョセフにこの仕事をやってもらいたいと言っていると申しました。これで、指物師に箱のお金を払うことのできるよい機会が出てきましたので、ジョセフはすぐにウエルズ夫人の家へ行って仕事にとりかかりました。

ジョセフが家を出たあくる日に、近所の人の一人があ版について私の夫にいろいろなことを聞きました。私はここであ版についてはだれ一人何も私たちから聞いたことがないと申しあげます。ただ、私の夫が二・三年前に或る腹心の友にそれをちう明けたことがあるだけであります。

註。この友とはマーテン・ハリスのことであった。

こうなると、私たちの友からあの事のヒントを得た者たちの心はサタンにそそのかされて、そのことをすみずみまで探り、全能の神の目的を妨げるあらゆる行動をするように思われました。

まもなく私の夫は、十人か十二人の人々がメソジスト分会の指導

者であるウイラード・チェイスという人を頭にいただいて団結をつくったことを知りました。その上もつとばかけたことに、この人々は六・七十マイルも先に居る或るまじない師を迎えてあ版がかくしてある場所を言いあてさせようとししました。

私たちはジョセフがもう金版を手に入れてそれをどこかにかくしたことを思っていました、敵がそのかくし場所を見つければしなしかと案じていました。

それで、そのあくる日これらの人の計画について聞いてから、私の夫は近所の人の中へ行って敵方の計画について何を知ることができるか見てみようときめました。私の夫がまいりました最初の家で、夫はあまじない師とウイラード・チェイスがのこりの一党と一しょに居るのを見つけました。私の夫は用事をつくってその家に入って扉の近くにこしをかけ、彼らの会話を洩れ聞くために扉を少し開けたままにしておきました。彼らはその扉に近い庭に立って、彼らの言うところの「ジョー・スマイスの金の聖書」を見つける計画をねっていました。あまじない師は前の日夜通し六十マイルに及ぶ旅をしてきて大そう元気な様子でありました。

するとほどなく、その家の女がこれらの人が行っている摘発に不安を感じて、裏口を通って庭へ下りて行きその夫に声を殺して呼びかけましたが、扉のかげに居た私の夫にははっきりと聞えました。

「サム、サム、あなたは自分で自分ののどを切ろうとしてるんだわ（自滅の行爲をしている意）。これを耳にしたあまじない師はでるだけの大声を立ててわめきました「わしはだれもこわくないぞ。ジョー・スマイスだって地獄の悪魔がみんなかかって来たって、あの金版はおれたちのものだ」と。

その女が戻ってきたとき、私の夫はそれまで手にしていた新聞をかたわらに置き、「今新聞をみんな読んでいるひまはないと思いますわい」と言つて、その家から自分のところへ帰ってきました。

私の夫は家へくるとエマを呼んで、ジョセフはあの金版の埋まっていた場所から金版をとつたか、お前はあの金版がいまどこにあるか言うことができるか、とたずねました。エマは、あの金版がどこにあるか、または埋めてあったところから取り出されたかどうか言えませんと答えました。そこで私の夫は今見たり聞いたりしてきたことを私たちに話しました。

これを聞いてエマは、私にはどうしてよいかわかりませんが、しかし、もしジョセフがあつた金版を手に入れることになつていなければ必ずそれを手に入れます、あの人たちはそれをとめることはできないと思ひますと言ひました。私の夫はそれで、

「もしジョセフが用心深く従順であるならきつと手に入れる。しかし小さなことのためにエサウはその生得の権利と祝福とを失なつたからな。ジョセフにもそうならぬとは言えない」と申しました。

「では、もし私に馬があれば今ジョセフのところへ行つて会つてまいります」とエマが言ひますと、夫は

「十五分のうちに馬を一匹用立ててやる。わしのチーム（曳車用の一組）は今行つてしまつてゐるが、今傭いから迷ひ出たのが一匹あそこ居るから、ウイリヤムをやつてすぐつれてこさせよう」と言ひました。

それから二・三分のうちにウイリヤムが「ヒッコリー」の細枝を首にまきつけた一頭の馬をつれてきました（傭いの中へ入れる前に、迷ひ馬には首のまわりに細枝をつけておくのが慣例であつた）、そ

れでエマはまもなくマセドンへむかつて出かけました。

ジョセフはいつも「ウリムとトミム」を肌身はなさず持つていました。そして必要なときにこれを使って見ると、金版が危険に類しているかどうかすぐにわかるのでした。エマがちようどウエルズ氏の宅に馬をのりつけるすぐ前に、ジョセフはある感じを受けていたので、自分が働らいていた井戸から上がつて来て、家からほど遠くない所でエマに会いました。エマがすぐにこれまで起つたことをジョセフに告げますと、ジョセフはそれを聞いて「ウリムとトミム」をのぞいてあの記録がまだ安全であることを知りました。それでも、ジョセフは自分がそれを処理することのできるわが家に居るのを必要とすることが起るかも知れないから、妻と一しよに家へ帰るときめました。

そこでジョセフは、ウエルズ夫人に、家に用ができたので帰らなくてはならなくなつたと申しました。これに対して夫人は最初同意しませんでした。が、とうとうジョセフの言うことを承諾しました。そこでエマが一人の少年に馬をつれてこさせますと、ジョセフはリンネルの野良着を着たまふそれにまたがり、前のように首のまわりに「ヒッコリー」の細枝をつけた馬の乗つたエマとくつわをならべて、途中バルマイラの村を通つて家へ帰つてまいりました。

ジョセフが家へ着いてみると、父親はひじょうに心配をしながら戸口に近い庭の上を歩きまわつて居りました。ジョセフはこれを見て「お父さん、何にもあぶないことはありません——みんな完全に無事です——」なにも驚ろくいわれはありません」と申しました。

それからすこし軽い食事をとりますと、ジョセフは私の一番下の息子のカルロスを兄のハイラムのところへ迎えにやつて、今会いた

いからすぐにここへ来て下さいと言わせました。それでハイラムが家へまいりますと、ジョセフはハイラムに丈夫な錠前のついた箱をもってきて下さい、そして私が帰ってくるまでここに置いて下さいと言いました。そして、このように指図をしてしまふとあの金版をとりに出かけました。

金版は家から三マイルほどはなれたところに次のようにしてかくしてあったのです。ジョセフはほとんど腐っている古いカバの木の丸太を見つめますと、その丸太のあるていどしっかりしている皮のところをナイフで注意して切り裂き、それを折り返して金版が充分入るほどの穴をほりました。そしてほった穴の中に金版をおさめると木の皮でその上にふたをしました。こうしてしまふと、金版をおさめた箇所をできるだけ知れないようにするために、たまたまその近くにあった腐っている木をとって、これを丸太とぶちがいに数箇所置きました。

ジョセフは今そこへ来ると、金版をかくしてあった場所から取り出し、自分のリンネルの野良着の中に包むとわきの下にかかえて家へ帰り始めました。

それからすこし行きますと、ジョセフは道をはなれて森の中を通った方がもっと安全だろうと思いました。そこでしばらく行つてから道をすてて歩いてゆくと、風で倒れた大きな木のところへ来ました。それでジョセフがその丸太をとびこえようとしたとき、一人の男がジョセフのうしろからとび上つて銃でジョセフをひどくなぐりました。ジョセフはふりむくとその男をたたき倒し、全速力で走りしました。それから半マイルばかり先きへ行くと、ジョセフはおなじようにしてまた襲われました。それで、また前とおじようにこの男

をたたき倒してまた走りつづけました。そしてもう家へ着いたと思ふと、家へ着く前に三度目の襲撃を受けました。

最後の男をなぐつたときにジョセフは親指の関節をはずしましたが、家が見えるまでそれに気がつきませんでした。そして家が見えるところまで来ると、呼吸を回復するために垣根のすみに身をなげ出しました。ジョセフは薬に息をすることができるようになるとすぐに立ち上つて家へ来ましたがおそれと走つてつかれたためにまだ全く口を利くことができませんでした。

しばらく休んでからジョセフは、カルロスを私の夫とナイト氏とその友人のストール氏とのところへやり、自分のあとを追つてきた男たちを見つけることができるかどうかすぐに行つて見てもらつて下さい、と私に言いました。カルロスがその通りになってしまふと、ジョセフはカルロスにハイラムの家へ行つて箱をもってきてくれと言わせてほしいと私に言いました。

私はジョセフのたのみ通りにしましたが、カルロスがハイラムの家へ行つてみますと、ハイラムはその妻の姉妹のうちの二人と一しょにお茶を飲んでいました。そしてちやうど茶碗を口もとまでもつて行つたときにカルロスがその肩に手を触れました。するとハイラムはあの子から一言も聞かないうちに茶碗をそこに落とすと、席からとび上つてあの箱をとるやそれをひっくり返し、なかみを床にぶちまけると箱を肩にかついでさつさと家を出て行きました。

一座の若い婦人たちはこの奇妙なるまいを見て大へんおどろき、そのとき長女のロヴィナが生れてたつた四日であつたので、ベツトについていたハイラムの妻に、ハイラムは半分気がちがつたんだと言いました。

註。ロヴィナの誕生日は千八百二十七年九月十六日であつたら、この時は生れて一週間以上になつていた。

ハイラムの妻は心から笑つて「まあ、ちつとも気が狂つていないわ。何かほつておいたことを思い出しただけなんですよ。あのようになにか思ひつくといつてもあの人は急に脱線してしまふんですもの」と答えました。

その箱が着きますとジョセフは金版をそれに入れて鍵をかけ、ベツトに身をなげ出して、自由に会話ができるように少々休みましてから起きて台所へ入つて行き、最近経験した冒険を、父親とナイト氏とストール氏と、それまでに起つたためずらしい出来事について何か聞こうとその時まで集つていたほかの人々に話しました。そして自分の親指をみんなに見せて言いました「お父さん私は話をやめて、あなたに私の親指の関接をもとに直していただかなくてはなりません。今たいへん痛いですから」。

私はここで、私の夫とナイト氏とストール氏がジョセフの命を取ろうとした悪漢を追いかけたが行つたが、ついに見つかることができなかったことを言つておきます。

ジョセフが始めて金版を手に入れたとき、主の使者がかたわらに立つて次のように言いました。

「今や汝はその記録を手に入れたが、汝は人間にすぎない。それであるから汝は、汝の信任に対して用心深く忠実でなくてはならない。然らざれば悪人たちは汝にうち勝つてであろう。何となれば、彼らはその記録を汝の手から奪うことのできるあらゆる計画とたくらみを施す故に、もし汝がたえず用心しなければ彼らはついに成功するにちがいないからである。その記録がわが手の中にあるうち

は、われはそれを保つことを得る故に何人もそれをとり去ることを得なかつた。しかし今やわれはそれを汝に任す。用心せよ、而して汝のやり方によく気をつけよ。されば、それが譴責されるまで、汝は守られてそれを保つことを得るにちがいなし」と。

私が前にお話しました、ジョセフが「鍵」と言つたものはまことに「ウリムとトミム」にほかなりませんでした。天の使者はこれ以て、ジョセフが示現で見た多くのことをジョセフに示したのであります。ジョセフはまたこれ以て、自分にもあの記録にも危険の近づくのをいつ何時でも確かめることができました。そういうわけでジョセフはいつも「ウリムとトミム」を肌身離さずもつていたのであります。

(83頁より続く)

の原則のおきてである。愛の法則に私たちの生活を一致させるときに始めて来るのであります。イエスの社会倫理を単に認識しているだけでは充分ではありません。人間の心がすっかり変らなければならぬのであります。

不安動揺の現代において、自由を愛する国民の最も大きな責任であり最高の義務であることは、個人と神との関係と、イエス・キリストの福音の原則に従ふ必要とを忘れないようにして、人々に宣べ伝えることであります。このようにして始めて人類は平和と幸福とを見出すにちがいません。……

神が私たちの心を照らしたもうて、私たちが自己の責任を理解し真理を宣べ伝え、全世界を通じて自由を維持いたしますように、イエス・キリストの御名によりお祈りいたします。アーメン。

(千九百六十二年十月五日の総大会における演説より)。

## 扶助協会 レッスン

### 「神學」教義と聖約

(千九百六十三年十二月第一週)

### 第五十一課 神の王国(「教義と聖約」六十五)

目的—末日聖徒イエス・キリスト教会は永遠に立つてであろうと予言された神の王国であることを学ぶ

### はしがき

予言者ジョセフ・スミスは、彼の歴史の中に、一八三二年九月十二日に教会の会員である。ジョン・ジョンソン家に寄寓する為、家族と共にオハイオ州のハイラム町に移ったと記してあります。ハイラム町はカートランドから南東の方向三十哩の処にあります。彼が到着してから十月の始め迄予言者は聖書の訳(改訂)を再開する準備をしていました。彼は教義と聖約の六十五章は啓示を通して受けた祈りであると書いています。これがこの聖典の中で啓示がそのように指定された始めてでありませす。カートランドの神殿が出来て

献堂される時、主は啓示によって献堂の祈りを与えたのであります(百九章)

### 道を備えよ

權威あるすじでは一節の、見よ、而して天より遣わされたる者の言うが如き声を聴け、と云う表現はパトモス島に於けるヨハネ

(黙示録一〇十一十二)を暗示していると指摘して居ります。ジョセフ・スミスが声を聞いたのは次のように記されて居ります。

……而して天より遣わされたる者の云うが如き声……こは勢い強く、力も強く世の隅々までも達するものにして、誠にその声は、人々に聞ゆなり。曰く汝ら主の道を備え、その道を直くせよ、と。(教義と聖約 六十五〇二)

主の道を備え、その道を直くせよ、は東洋的な具象的表現によるイザヤ書四十章三節にも参照されて居ります。昔に東洋の支配者は使者を遣わして彼の来訪を告げさせたのであります、それは彼

の臣下に曲った道を真直ぐにし、道路を平坦にするよう通告を發したものであります。これと比べる時啓示は、はっきりしているようであり、主の再臨に備える為に遣わされたのであります。彼の王国の忠実な僕たちは彼らの王を迎えるに必要な備えをなすでありましょう。私たちが主の誠命に応じ主の降臨に備えるならば、私たちの祈りは受入れられるであろう。(教義と聖約註解 三九八頁)

### 王国の鍵

主はジョセフ・スミスに神の王国の鍵が地上の人に与えられたことを思い出させています(教義と聖約六十五〇二) 救主によって、引き続きその使徒たちによって与えられている通り時の絶頂の時代の使徒たちは、長い間の、福音の真の原則と儀式から背教した時期を過ぎて福音がこの地上に回復されるであろう時を予見していたのであります。ペテロはその時を、主のみ前から慰めの時が来て、と述べそれは、神が聖なる予言者たちの口をおして、昔から予言しておられた万物更新の時、に当ると申して居ります。(使徒行伝 三〇十九—二十一)

この予言は私たちのこの時代に就ての多くの予言者の言葉を思い出させることに於て重要であります。即ちモルモン経の出現(イザヤ書二十九、エゼキエル書三十七、三十八、三十九)、イスマイル人の集合(エレミヤ書三〇、三十一、三十二、三十三、イザヤ書三十一、三十二、三十三)、山の上に主の家を建てて(イザヤ書二二—二三)主が突然訪れるであろう神殿(マラキ書三〇一)及びその他、既に成就され又はされつつある予言であります。

使徒パウロは時満ちたる最後の神権時代にすべてが一つに集められることを予見しています(エペソ書一〇九、十) この神権時代への導入として天使によって福音がもたらされるであろうことは予言者たちが見た回復の一部であります(黙示録 十四〇六、七) 神の王国の鍵は、すべてのものの回復に必要なであります。律法と福音の儀式を執行する宣権の権能なくしては救いの計画も無効になつてしまいます。(ヨハネ伝十五〇十六、ヘブル書、五〇四) 必要な鍵(王国の仕事を示す能力)はパプテスマのヨハネによって(教義と聖約十三、マラヤ書、

三〇—一三)又、ペテロ、ヤコブ及びヨハネ(教義と聖約二十七〇—二十一三)によってジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに与えられたのであります。最後の聖文に、予言された通り、主がすべてのものを一つに集める神権時代の鍵が委されることが参照されています。

その後この神権時代にこの時代の特別な活動をなす為には、追加の権能が回復されねばならなかったのであります。予知されたように、エライジャが来しました。(マラキ書四〇五・六、教義と聖約二、百十〇十三、十六)私たちの時代に必要な機能を完成する為にはモーセとエライヤも遣わされたのであります。(同上百十〇十一、十二)尚、その他のものが永遠の富を望む者たちを祝福すべく彼らの権威、権利、能力及び栄光をもたらしたのであります。(同上百二十八〇二十一)

### 予言された王国

この末日に神の王国を設定することに關する、旧約聖書の著名な予言の一つはダニエル書二章に見られます。四十五節に、一つの石が人手によらずに山から切り出され、と出ていますが教義と聖約六

十五章の二節には次のように記されて居ります。

神の王国の鍵はこの世の人の手に委任され福音はここより転じ行きて世の果にまでも達せん。

このダニエル書の予言に關する興味ある、予言者の声明が殉教する少し前になされた。……昔の予言者は末日に天の神は決して滅ぼされない又、他人の手に渡らない一つの王国を建てるであろうと宣言しました。そして計算された丁度この時にこの民は、それをもたらそうと苦闘しているのであります。

私は主の言葉によるダニエルの王国を建てる手段の一つであるべきだと思つて居りますが、私は全世界を改革するであろう基礎を置くこととして居るのであります。私は曾て私の民の犠牲として私の生命をミズーリの暴徒に捧げました。この王国が進展して行くのは剣や銃によるのではなく、福音による。すべての民が福音に従わねばならないことが真理の力でありませぬ。(教会誌六卷三三五頁)

### 福音はパン種

ジョセフ・スミスの祖父アサエル・スミスは靈感されて次のように言いました。

私の子孫の一人が宗教的信仰の世界を革新する働きを宣言するのであると言ふ声が常に私の心にささやいていた。(スミス・ジョセフ・ファイルディング、教会歴史の本質二九頁)

福音の回復と、その全世界を通じての伝道の影響は非常に大きかつたし、又將來とも全世界の民に大きな影響をもたらすのであります。

私たちの指導者の或人たちは世界に於ける眞の福音のパン種のよすな効果に就て指摘して居ります。人類の宗教的な考え方が一八二〇年から或変化をもたらすのであります。

### ダニエルの予言

多くの私たちの指導者たちがハブライの予言者ダニエルによって解釈されたネブカデネザルの夢の記されたダニエル書二章特に四十四節を参照していますが、ジョセフ・スミスによって書かれた教会歴史のはしがきでB・H・ロバート兄弟は私たちに最も完全にその意義を伝えて居ります。

要約するとダニエルによって解釈された王の夢は(ダニエル書二〇三七—四四)ネブカデネザルの王国は最初の世の勢力で(B・C五・六百年)次はメド・ペルシャ帝國(B・D、五三八—一三三〇)引き続いてグレコ・マケドニヤ帝國(およそB・C、三三〇—一六〇)更にその直後から五世紀迄続いたロー

## 成就

マ帝国を示しています。貴方が若しもロバート兄弟の説明を読むなら彼が四十四節に指摘している神の王国をプロテスタントの著者からキリストの時代に建てられたものとして引用しているのには、気がついて下さい。ロバート兄弟は、はっきりと、そのような解釈は間違っている」と指摘して居ります。一つの理由は夢の中で五番目に建てられるであろう神の王国は、ローマ帝国が多数の小民族国に分裂する時であって、イエスが伝道したローマ帝国時代ではないのであります。(教会誌第一巻)

上記の各々の王国はそれぞれ偉大な像の一部を象徴して居ります。即ち、黄金の頭は、パピロニヤ、銀の胸と腕はメデス及びペルシャ、青銅の腰と大股は、グレコ・マケドニヤ王国鉄の脚はローマ帝国、及び鉄と粘土の足は、最後に亡びて神の王国に置き代えられるはずなのであります。

人手によらずに山から切り出された石として現され、予言された神の王国は一八三〇年四月六日に正式に組織され末日聖徒イエス・キリスト教会として知られている。教会は救主を頭として、その代表者として教会の大管長が啓示によって導き指揮して居るのであります。キリストの時代のイエス・キリスト教会が役員と各組織から成り立って来たように予言された如く、福音と教会が回復された時、今日の教会はその多くの目的を触知出来る組織を以て遂行しているのであります。(一九五八年度扶助協会雑誌十一月十二日号第十三課及十四課)

## 教会の目的

この神権時代の始めに、主はこの世の脊髄した状態の為に、人々が救われる手段として、この地上に彼の組織を建てることを啓示されたのであります。この回復は救主が栄光を以て来る時に彼の教会を受入れるであろう人々に備えられたものであります。

主は弟子たちにその王国が来るように祈れと命じました(マタイ伝六〇九一十三)この注告は、弟子たちが、祈ることを念頭とした目的を進めることを念頭としたことを気づかせます。(教義と

聖約一章)六十五章にキリスト再臨に備える為の同様のメッセージが述べられています。(三節及び四節参照)

伝道の働らきを通じて教会の原則と儀式を普く知らせるべき神の王国の任務を強調しているいろいろの注告に眼を止めることは大切なことでもあります。先づ教会に委任されたことは福音を説くことでありました。最近、すべての会員は宣教師である、と云うことが再び強調されましたが私たち王国の市民としての根本的な責任をよく自覚せねばなりません。

## 天の王国

主の御名を呼びてこの世に神の王国を来らせ、世に住める人々を以てこれを受け、来るべき時代の備えを為さしめよ。その時、人の子は地上に建てらるべき神の王国にかなうため、彼の栄光に輝く衣を召されて天の中より降りたもうべし。(教義と聖約六十五〇五)

主は弟子たちにその王国が来るように祈れと命じました(マタイ伝六〇九一十三)この注告は、弟子たちが、祈ることを念頭とした目的を進めることを念頭としたことを気づかせます。

地上に設けられた神の王国は生ける者と死せる者との救いの為のその目的を果す為救主を迎えるべく準備されねばならないのであります。彼の王国の忠実な市民たちは、その王の誠命を守ることによって主の眞の弟子としての職務を果すでありましょう。(ヨハネ伝十四〇十五)

これを以て願わくは天の王国の来らため、まず神の王国を出で行かせたまえ。神よ、かくして天に於ける如く、地に於ても栄光あらせたまえ。またかくして、汝の敵を征服したまえ。誉と能力と栄光とは、ときはかきはに神のものなればなり。アーメン。

ジェームス・E・タルメジ長老は、神の王国と、天の王国の表現は塵々混同して使われているが末日の聖文に、それは判然と区別されていると次のように書いて居ります。神の王国とはキリストの教会で、天の王国とは天上で運営されている同体系の政府で私たちが何時かそれが地上にも優勢となるように祈っているところのものであります。王が来た時に天の王国は建てられるでしょう。彼は来る時に、能力と勢力と栄光の内、に全地の統治権を握るでしょう。

天の王国が来るでしょう、そして地上に公正に治められるでしょう。(タルメジ・ジエームス・E一九一七年四月大会報告書)

それは永遠に立つてであろう。恐らく最もよく引用されるダニエルの予言は、四十四節であります。

それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立つて永遠に至るのです。

予言者ジョセフ・スミスは、主の御業に就て、言っています。

神の御業の進展を止め得る汚れた手はない。迫害が起るかも知れない。暴徒は共謀するかも知れない。けれども、神の真理は、神の目的が達成され、大いなるエホバが仕事は完成したと言う迄、雄々しく、気高く、確乎として、すべての大陸を貫き、すべての地方に達し全地を覆うて、すべての耳に響くであろう。(モルモン文学のスクラップブック二〇十八—一九)

一八三二年の早期にワイコム・クラーク及びその他の者が教会から離れて彼ら自身の教会を組織した時、悪魔が人々に働きかけ神の王国に反対の行動を起し神の御業を攻撃したのでした。この企てが失敗したのでその支流が少しの間続いたけれど、すべての他の企ても覆えされたのであります。個々の宗教は王国を制止することは出来ないうでしょう。チャールス・W・ペンローズ部長は言いました。

若しも貴方か、又は私か或は私たちの内の誰かが教会を去ろうとも、教会は依然として前進するでしょう、私たちは教会が何か私たちに負うていると考えてはならない。私たちが大いに教会に負っているのであります。光と真理とすべての原則、儀式に對し、又神の権能と儀式に對し、又教会に於ける、私たちの慰安の爲の援助、贈物に對し、又私たちの祝福、結合、又教会内での能力の持続に對し教会に負うているのであります。それらは教会内で任命された幹部を通じて神から私たちに、もたらされたものであります。そして私たちがどのようにしようと、それらは滞在し続けるでしょう。(一九一三年四月大会報告六十四頁)

結 論  
ジョセフ・スミスに對する神の啓示で一八三〇年に組織された教会は神の王国でダニエルがそれは、決して滅ぼされず他の民にも渡されず永久に立つてであろうと言ったように引続き神の教会として存在するであります。現在の物會員の増加、建築計画に於ける物の神への確信の能力はこの御業がその神性な任務を成就すべく進展していることを示して居ます。王国の鍵は、この世の幸福と来世の永遠の生命の爲に鍵の能力の便益を受けようとする者に祝福と利益をもたらしべくこの地上にあります。

王国、と、天の王国、を區別しなさい。

### 訪問教師のメッセージ

(千九百一十三年十二月第一週に) メッセージ第五十一「この故に汝ら全くせらるるまで引きつずき耐え忍ぶべし(教義と聖約六十七〇十三)

目的—完全の爲に引きつずいて忍耐を以て努力することの価値を教える。

救主はその無比の山上の垂訓で、大いにして且つ、従うことの最も難かしい誠命を私たちに与えられました。彼は言いました。それだから、あなたがたの天の父が完全であらねるように、あなたがたも完全な者となりなさい。(マタイ伝五〇四十八)

約二千年前のその時から主の良心的な弟子たちはこの誠命に関心を持ち、果して不完全な人間が天父のように安全になれるだろうかと思案しています。この年を経た質問に對する一つの回答は、人が完全になる爲に出来る、すべてのことを為している限り彼は完成への道にある。それだから彼は主の誠命を成就する爲出来るすべてを

考察のための質問  
(一)末日聖徒はどのようにして、主の道を備えることが出来ますか?  
(二)最後の神権時代に関する聖書の予言を討議しなさい。

(三)福音はパン種だと言う考えはどのようわけですか?  
(四)宣教師の仕事はキリスト再臨に備える目的に如何に適合していますか?

(五)現代の啓示に用いている、神の

なしているのであります。

この質問に対する他の回答は教義と聖約、六十七章の中に見られます。第一節に言っています。汝らは今神の前に留ること能わず、また、人の為に導きと恵みを施す天使と共に居ることも能わず。この故に汝ら全くせらるるまで引きつずき耐え忍ぶべし。

全くせらるる迄、耐え忍ぶことの必要なることは大いなる使徒ペテロによつても、聖徒たちへの彼の第二の手紙の中に述べられていません。彼は彼らに次のようにすすめて居ります。

それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を（ペテロ後書一〇五—一六）

では若しも私たちが勤勉に忍耐し続け、それを援ける徳を積んで行くなら完全に到達することが出来るでしょうか？ 忍耐を援ける徳とはどんなものでしょうか？

この内で最も大切なものはやさしさ、沈着、自制、持久であります。これらが忍耐に干渉する以上、各々について簡単に考えて見よう。

やさしさは忍耐の基礎となる性格であります。忍耐する人はやさ

しく、理解があり、思慮深く、親切であります。私たちがこれらの特長を実施する時、忍耐が現れます。沈着は忍耐に協力するもう一つの特長であります。平静な人は毎日小さな試練や困難を静かに落付いてこらえて行きます。このようにこれらの小さな問題に処する経験は、大きな問題が起つた時に

それに対処出来る強さを打建てるのであります。私たちがすべての者がこの忍耐の性格を実習することが出来るのであります。自制は忍耐の最も重要な状態であります。人は自分自身を制することが出来なくて他人を制することは出来ません。自制とは私たちの感情、怒り、及び食欲を制することであり、及び自制とは自らを抑制することであり、持久は忍耐のもう一つ

の属性であります。最も平穩な人生に於ては落胆、失望、失敗、敗北に相違せねばなりません、立派な精神と高度の勇氣と善良なユーモアを以て之に対処することが持久心の大切な部分であります。人が打ちめされた時に立上りがつて再び試みよとする勇氣及び最後迄堪える能力は忍耐の特質であります。教会の歴史及びその発展に個人々々の忍耐が極めて大きな

役割をなしているのであります。これは特に開拓者たちがあらゆる試練と苦難と妨害と失望に堪えて西方に向い遂に勝利者の栄冠を以つてソルト・レークの盆地に入つたことに於て真実であります。彼らが失望のどん底にあえいでいた時にウイリヤム・R・クレイトンは、偉大な不滅の讚美歌を作曲したのであります。

恐れず来たれ聖徒

進み行けよ

その旅はつらくとも

恵みあらん

無益な愛いは

払いて努めよ

されば喜ばん

すべては善し

誰かが賢明にも次のように言いました。

忍耐は精神を強め、氣質を和らげ、怒りを鎮め、ねたみを消し、高ぶりを征服し、舌を抑制し、手を制止する。（若人へのラッパ 四五—三五）

忍耐は平和な魂である、それはあらゆる徳の内で最も天に近いものである、それは人を神の如くにする。

「仕事会」

（千九百六十三年十二月の第二週）

考察その十一「家庭内の財源保

存計画」

目的—買物又は家具の使用に浪費又は無駄がないか吟味して改善策を講ずる。

今日ラジオやテレビその他新聞広告などで盛んに冷蔵庫、ガスレンジ、洗濯機、真空掃除機、ミキサー、ブレンダー、皿洗機、自動車その他あらゆる機械器具の販売広告がなされて居ります。或家族はこの為長期の目的を忘れて最近の流行クローム裝飾をほどこす為に将来を抵当に入れてしまつて居ります。他の人は家庭生活にもっと大事な価値と目標を見出すかも知れない。長い眼で見る時、この人たちが成功するようです。このことは有効な購入が望ましくないと云うわけではありません。しかしにそれらは日常の雑事に追われる時間を短縮すべく、もくろまれたもので生活改善の恩恵となるものであります。要するに家族は自身の収入限度内で生活すべきで或目標は他のものより大切であり、一項目に全予算を使用してはならないことを自覚すべきであります。

す。注意深い計画と賢明な買物は家族の者をせいたくと浪費の悪習慣から守り、彼らが予算面に於ても平均のとれた生活を営むように助けます。まだ品物が良好な状態にあるにもかかわらず市場に新しい型が出たからとて、これを購入することは如何なる品物にせよ賢明なことではありません。

子供が生長すると家族の者は或家族がなしたように共に働らき計画し、ピアノが皿洗機又は新しいひざ掛けよりも大切だと決定しました。ピアノを買ってから彼らはひざ掛けの計画をします。彼らは捨てられた、毛織物を探して、それを洗って、ひざ掛けを織りました。子供たち各人及び両親は、その用いる色を決め、六月でひざ掛けを完了しました。ピアノは賢明な投資であります。何となればすべての家族的活動が刺激されるからであります。

或家族は、屋根裏部屋や古道具屋又は新聞広告でまだ良質の旧式な家具を見つけ出してそれを伝統的な家宝となる迄の好ましい家具に再製出来す。貴方を買った物を定期的に手入れするならその寿命を長くしま

す。家庭の電気レンジの coils の取換えに忙しい器具販売者が、彼女は鍋を煮過ぎる毎に coil を焼いてしまつてゐるの知らないのだからか？ とたずねました。他の販売者が言いました。

私は使用法を読まないで洗濯機に莫大なお金を費している人の愚かさを理解出来ない、けれどもその人たちの不注意で私は大きな利益を得ているので、もんくを云うべきでない。

すべての買物を計画し節約する家族は出来心で買う人よりもその物に対し感謝し注意するようであります。

すべての製造装置はその生産物の見本と共に使用法を記した冊子が含まれています。それらはその装置に附属して購入者の財産になるはずです。或製造業者は大部分の女性が使用法冊子を読まないのを知つて、おどけた説明書きよりも冊子の表紙に赤字で大きく記すようにしました。そうしないと使用法を読まないのです。機械器具取扱いの最も大切な方法は、その正しい操作に完全に通じることにあります。屋内据付け場所の推薦、動力部分の取扱方、完了後の保全、その他為すべきこと、為す

べからざることなどが、その機械に説明されてあるのが普通です、誰でも製造業者の説明書をよく読んで居ればせよそのをストーブでひびからせる必要はないのです。そのせとものをきれいにする為にかける前にその機械を冷たくしておくことにより、又洗濯機の所有者がその推薦された分量に通じて居れば、あまり入れすぎでモーターを焼き付かせる必要もないのです。冷蔵庫は若し霜とかし規則に従つていたら、そんなに早く古びることとはないのです。例えば霜とかしを急いで鋭利な刃物で内部の水ついたところを突いたりしないことであります。

通常使用されている多くの機械は可成り多額の投資がなされて居り、幾年も役に立つものがあります。製造業者及び彼らがその資材を購入する先の会社は非常な研究と審査をして居るのであります。彼らはその生産品がどのような状態の下で最もよく操作されるかを懇つて居ります。

貴方自身に次いできれいにしなさい、と云うことが家庭内の一人々々が学ぶべき価値あるレッスンであります。洗濯機を使い終つたら完全にきれいにして次の使用に

備えて置くべきであります。レンジが冷えてから次の食事に備えておくべきであります。パーナーを清潔にしたことなく鍋をよく乾かさず、オーヴンをきれいにせず冷蔵庫の手入れをせず真空掃除機の袋を取換えないような主婦は、決して投資しただけの価値を得ていないのです。よごれた機械器具は決して効果的に作用せず、すぐ役に立たなくなつて修繕するか取換えねばならなくなるのであります。

人はよく手入された道具を愛用します。家庭内で三代も続いているような古いアイロンやフライパンが尚も素晴らしい働らきをして居ります。それは先づ使用法に就てよく訓練されて、それ以来未だに使用されているわけでありま

す。半世紀に亘つてスカートや衣服類、コート及びふとんまで縫つていた古いペダル付きのミシンでも非常に重宝とされてゐるのであります。このミシンをかう為に牛が売られ、それ以来この家庭内に於て他の何物を以ても代へることの出来ない存在となつてゐるのであります。ぜいたくと無駄な買いかたや使いかたは、注意深い計画と賢明な買ひ方と、正しい定期的な手入によつて取除くことが出来るのであります。

10 — 15 minutes to practice reading the story aloud to each other softly. Discuss definitions of difficult words and phrases.

2. Suggested Special Activity:

A. If possible have a married couple to participate in the class. If they are unable to speak English well enough have them speak in Japanese & either a missionary or Japanese translate it into English. They could tell the experiences they enjoyed together — how they met, where they were married etc. Or compare the differences in Japanese and American Weddings or marriages.

B. Or show pictures of people actively engaged in an enjoyable sport or activity and have students tell a story about the picture . . . can be either one incident or a short story. Give them a few minutes to think about it or to write it, however you may wish to do it. Sing "Love At Home" in Japanese and English for variety.

### 5th Week

1. Read through and discuss last section of story—have them repeat after you . . . discuss difficult words and phrases. Arrange in groups of 5 if possible and have each one in turn read a section of the story aloud to his group.

2. Suggested Special Activity:

A. Talk about family life. Ask the students questions about their homes and families.

B. Obtain a movie from nearest Culture Center on families if possible. Or use slides that the missionaries have that show their homes and families or showing America or other lands. Describe as simply as possible in English, For less advanced classes have someone translate into Japanese.

When introducing M. I. A. look for new ideas to develop interest. Try putting words to familiar tunes and having the class sing together. Assign class members to write a song, poem or introduction to M.I.A. to be presented at the next English class.

For example: using the tune to "Are You Sleeping" (Recreation Song-book page 73) here is a set of lyrics that could be used—

Song and Dance Song and Dance Drama and Speech Drama and Speech  
Tonight at half-past six

Tonight at half-past six (or Come tonight at six) M.I.A. M.I.A.

It's easy—use your imagination!

as its definition; how it can be used in a sentence; or another word that means the same or a word that has opposite meaning.

For example:

1. swirling
  2. sensation
  3. accumulataad
  4. distress
  5. optimism
2. Suggested Special Activity:  
Try a debate such as —  
Resolved: Young peopre should be encouraged to date at an early age.  
Any other topic could be used; and it needn't consume a long period of time.

### **3rd Week**

1. After reading and discussing this section have the students close their books. Ask questions about the contents of the story to tell whether or not they understand the meaning . . . e. g. ask questions that must be answered yes or no — 1. Was this a winter experience? Or ask questions requiring an answer from the text: 1. Why were all the cars stopped?
2. Suggested Special Activity:  
Have a guest speaker or speakers talk on such things as "My Ideal in a Man" (a girl tells this) or a boy talks about "My Ideal in a Girl". Choose students who have good English — might he wise to have them prepare ahead of time and checked for errors by the teacher. Or have a missionary or two talk on these or related subjects and have a Japanese translate into Japanese. Or turn the class into round table discussion and discuss the Japanese and American viewpoints on dating or ideal man or woman and compare the differences of opinions.

### **4th Week**

1. Read and discuss the section together. Have class close books and repeat each sentence after you. Have students pair off and spend about

## English Plan for October

To the Missionaries:

Use this month as a question-answer (discussion) learning experience.

Be sure and call for any questions the class may have.

The lessons will need advance preparation so before beginning it would be a good idea to read through the whole-month plan.

Be sure and invite the students to attend M.I.A.

### 1st Week

1. Read the story in English and have someone read it in Japanese. Read the first section and have the class repeat after you sentence by sentence. go Then through the whole story pronouncing one by one just the italicized words and have the class repeat. Ask for any questions about the meaning of this part of the story or any of the words. Have each student one by one repeat after you a word or two.

#### 2. Suggested Special Activity:

Manners and Dating Discussion and Demonstration

- A. a fellow should help a girl on with her coat. The girl should walk over to her date hand him the coat from the top center neck seam and say, "Would you help me with my coat, please?"
- B. The fellow should be ready to open the door for the girl to go ahead of him. The girl should step to the casement side of the door, nearest the knob and wait. That way he won't have to ask her to move in order to open the door.
- C. In telephoning always identify yourself when calling. It is nice to inquire if they have a moment to talk with you now. Be accurate in taking messages for others and follow through on delivering them.
- D. A girl wears gloves to keep her hands clean, and she removes them when she is eating. She needn't take them off to shake hands with someone.

Have members or missionaries demonstrate the foregoing points of etiquette. Then help class members to practice these things.

### 2nd Week

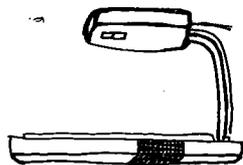
1. Read and discuss the second part of the story. Have the class repeat after you as you read sentence by sentence or phrase by phrase.  
Have a student tell all he knows about a word from the story such

*light* of a car. To diminish their worry and pass on an encouraging word was worth the walk over that icy and snow-laden road. After some more walking and checking, we finally found the car containing the baby we had set out to find. Her parents had run out of gas and they needed a blanket and apples. A car nearby carried a man who was quite ill, but we decided to leave him with his family for the time being rather than take the *risk* of carrying him over the ice and drifts.

A *highway patrolman* working his way down from the *Continental Divide* could move no farther; so, before pushing his car around on the ice to enable him to continue the return journey, we contacted *Rock Springs* on his *short wave radio* and heard the welcome news that *bulldozers* would break through in another hour. Spreading the glad tidings as we returned to the Junction, we saw the lights of our *rescuers* in the distance.

There was still the *task* of *hooking* on to each car and pulling it down the road and lining up the *caravan* for the *perilous descent* into Rock Springs, but the *pressure was off*, and what might have been a night of suffering and sorrow became a treasured experience to be told around the fireplace.

In memory, I see the faces of concerned parents. I hear the chattering of small voices, unaware of the *potential* danger; and view the *exuberance* of college students, good naturedly accepting their plight. But most important I remember how much a word of encouragement, a red apple, a blanket, and a few gallons of gasoline meant to so many people. I find myself asking, "Why can't we help each other like this *under less dramatic conditions?*" It takes so little to help so much. We are, indeed, our "brother's keeper."



of gasoline to their cars.

It was 7 p.m. and still no encouragement had come *via* the *party-line* telephone, which was usually in the hands of the other parties.

A *distress* call, passed by word of mouth down the miles of cars, reached the Junction. It was reported that a young family with a two-month-old baby had run out of gas about three miles up the line. Eight of us borrowed coats and boots and started out on what was to be a rewarding *expedition*. Carrying cans of gasoline and blankets, we started up the road. Not knowing when we might expect relief, we decided to check the condition of the passengers in each car.

The driver of the first car said, "I have two *bushels* of apples in my trunk and you are welcome to take as many as you can carry." Accepting this generous offer, we filled our pockets and a large paper sack and continued our *mission*.

The conversation with the *occupants* of each car went something like this: "How much gas do you have?" The answers ranged from near empty to one half of a tank.

"Help is on the way but it may be several hours before it arrives. Run your motor for 15 minutes and turn it off for ten and be sure to open your window a bit each time you start the motor because the drifting snow might *plug* your car's *exhaust pipe* between starts and *subject* you to *monoxide fumes*."

Next question: "Have you any food?" Seventyfive per cent said "no"; and to those weary souls, an apple was like *manna from heaven*. Expressions of concern now became partially *relaxed* and almost everyone seemed to feel that it would be possible to make it through the night if necessary.

We *trudged* on. In one car was a baby in a crib. In another we found a young family of five children, ranging in ages from six months to nine years of age. Coming from the *warmer climes of Texas*, they were not dressed for this occasion so we left apples, a blanket, and three gallons of gas. To an elderly couple (the wife unable to walk because of *paralysis*) we left *fuel* <sup>and</sup> made arrangements for her to be *transferred to the cab of a semitrailer-truck* if the supply *bwindled* again.

*Eager* faces appeared in the dim light of our flashlights or the *dome*

## English Plan for October

### Apples, Blankets, and Gasoline

by L. Mark Neuberger

The snow was *swirling* across the highway with ever-increasing *velocity* as we drove cautiously across the familiar plains of Wyoming. We had left *Rawlins* in the morning with the expectation of having a leisurely ride home to *Logan, Utah*, with a possible side trip to *Flaming Gorge Dam* in northeastern *Utah*.

Always a busy *transcontinental* route, U. S. Highway 80 had more than its usual share of travelers as 300 *Utah State University fans* were *winding* their way homeward after attending a *football game* in *Laramie*. Suddenly, the car ahead came to an *abrupt* stop. Upon applying our brakes, we had the unpleasant *sensation* of sliding sled-like up to our neighbor's bumper. The storm had now turned into a real *blizzard*, and it was some 20 minutes before our son, Brian, and several other hardy souls *ventured* out to *investigate* the cause of our delay.

A large truck had *jackknifed* across the highway; *snowdrifts* had *accumulated* quickly, and hundreds of cars were backed up for miles. Those of us who were fortunate enough to be near the head of the line discovered *Thayer Junction*. Its small combination service station-grocery store was immediately *engulfed* by cold and *frustrated* motorists. The students accepted our *plight philosophically* and immediately started to entertain themselves with happy conversation and candy bars and an occasional game of "*Old Maid*." Throughout this ordeal, they conducted themselves in an *exemplary* manner, and *their youthful optimism gave assurance to all*.

The hours dragged on and the storm continued *unabated*. The store's *meager* supply of lunch meats was quickly exhausted and many people had to be content with a can of pork and beans and crackers. A few lingered in the store but the majority, including my ever-cheerful wife and I, returned to their cars and kept the motors and heaters running throughout the afternoon.

*Anti-freeze* was selling at a *premium*. As dusk began to fall, people within a mile of the Junction started to carry three- and five-gallon cans

ンを持っていますか？”その答えは殆ど空からタンク半分迄の間でありました。

“救援隊は既に出発していますが、まだ到着する迄には数時間、かかるかも知れません。貴方のモーターを15分間走らせて、10分間停止して下さい。そして貴方がモーターを始動する度に必ず少し窓を開けて下さい。何となれば吹きたまつた雪が始動の間に貴方の車の排気管をふさいでしまつて貴方は一酸化ガスの被害を受けるからです”。

次の質問は、“貴方は何か食物を持っていますか？”75パーセントの者が“いいえ”と言いました。そしてこの疲れ果てた人々にとってリンゴは天からのマナのようであつたのであります。今や幾らか安心感が現れて、殆どすべての人が若し必要ならばこうして夜を徹することも出来るだろうと感ずるようになったようでした。

私たちはてくてくと歩き続けました。或車には小児用寝台に赤ん坊が居ました。他の車には6ヶ月から9才までの間に5人の子供を持っている家族が居ました。暖いテキサスから来たので彼らはこのような場合に臨んで衣服を身につけてなかつたのです。そこで私たちはリンゴと毛布と3ガロンのガソリンを置いて来ました。年長者の夫妻（妻は中風で歩けない）に私たちは燃料を置き、彼女の為に、若し供給が再び減少したら半トレーラートラックの運転台に移す約束をしました。

かすかな私たちの懐中電燈の光又は車の天井の光に熱望している人々の顔が現れました。彼らの心配を和らげ励ましの言葉を告げて行くとき氷つた雪道も誠に歩きがいのあるものでした。更にいくらか歩き点検した後、私たちは隊に私たちが見つけようと定めていた、赤ん坊を入れている車を見出しました。彼女の親はガソリンを使い尽くし、毛布とリンゴを必要としたのであります。近くの車に重病人を連れていましたが、私たちは氷と吹雪の中をついて彼を運ぶ危険をおかすよりも暫らくの間家族と共にそこに彼を残すことに決めました。

コンチネンタル・ディヴァイドから来た国道巡視員がそれ以上動けなくなっていました。そこで私たちは氷ついた彼の車を押して帰途につかせる前に彼の短波ラジオでロック・スプリングスに交渉しました。そして少したつとブルトーズが貫通してくれるであろうと云う嬉しいニュースを聞いたのでした。喜ばしい便りをひろめつつ私たちが乗換駅に戻った時、私たちは私たちの救いの光を遙か彼方に見出したのでした。

そこにはまだロックスプリングスへの危険な降り坂を曳き降ろして道路上に整列させる為に各車を連結する任務がありました。けれども重い気持はなくなりました。そして苦しみと悲しみの一夜であつたかも知れないこの夜の出来事はファイヤサイドで語られる貴重な体験談となつたのであります。

私の記憶に心配そうな両親の顔が浮かんで参ります。私は迫り来る危険にも気がつかずにさえずりしゃべっている幼い声を聞きます。又哀れな状態をよい先天的な自然さで受入れる学生たちの明朗さを見ます。けれども最も大切なことは、励ましの一言、赤いリンゴ一枚の毛布、及び2、3ガロンのガソリンが多くの人にとって如何に大きな力であつたかであつたことを私は憶えています。私は私自身にたずねます。“私たちはこのような劇的狀態でなく日常の事に於て、何故お互にこのように援け合うことが出来ないのでしょうか？わづかなことでそのように多く援けれるのです。私たちは、ほんとに私たち兄弟の守人なのであります”。

## 隣人の為にリンゴ、毛布及びガソリン

エル・マーク・ニューバーガー

私たちがよく知られたワイオミンの広原を気をつけながら運転している時、益々烈しくなって来る吹雪は渦巻いて国道を横切っていました。私たちは朝、ラウリンズを出発し、ゆっくりとユタのローガンの家迄、乗って、途中で、出来ることならユタ北東のフレーミング・ジョージ・ダムに寄り道して行こうと期待していました。

いつも交通の烈しい合衆国大陸横断道路、80番国道はふだんよりも300人も多い旅行者をかかえていました。この人たちはララムのフットボール・ゲームに参加した後自動車に乗って家路についたユタ州大学の一行でありました。突然、前方の車が急停止しました。私たちのブレーキをかけたのですが気持悪くも、そのようにすべって隣人のバンパーに打ち上げる衝撃を感じました。

暴風は今や猛吹雪となり約20分程たって私たち息子ブライアンと数人ががっかりした人たちは、その遅れた原因を調べに身の危険をも顧みず出かけたのでありました。

大型のトラックが国道を横切って切り込まれていました。そして忽ち吹雪が積もって数百台の車が数哩に亘って後方へ連らなっていました。幸いにも私たちのように先頭に近かった者たちは、サヤー乗換駅を見出しました。

この小さな食料品店も兼ねた駅は、忽ち寒さにかじけた運転手たちで一ぱいになってしまいました。学生たちは冷静に環境に応じて直ちに楽しそうに語り合い、菓子を食べ、又「オールド・メイド(ばばぬき)」遊びに打ち興じたりしました。この試練の間中、彼らはよい模範を示し彼らの若い樂觀主義は、すべての人に確信を与えたのでありました。

数時間経過しましたが暴風は弱まりませんでした。店の少い食事は忽ちに食べ尽くされてしまって多くの人たちはポークや豆の罐詰及びクラッカーで満足しなければならなかったのです。わづかな人が商店の内にぶらついていましたが、いつも元気な私の妻及び私を含めて大部分の人が彼らの車に戻って午後を通じてモーターを動かして暖房を保持しました。

凍結予防済はプレミア付きで売られました。夜になると乗換駅1哩以内の人々が3ガロン又は5ガロンのガソリン罐を彼らの車に運び始めました。

午後七時になったけれども共同加入線電話経由では勇気づけられる便りは来ませんでした。普通に他方の側に使用されていたからです。

乗換駅から数哩の車から口伝えて悲痛な呼び求めが伝わって来ました。約3哩彼方の路線にある2ヶ月の赤ん坊を持った若い家族の車のガソリンが切れたとの報告でありました。私たち8人の者は上衣と長靴を借りて報われると期待された探検に出発したのであります。ガソリン罐及び毛布を持って私たちは道路上を出発しました。いつ救助が期待されるかわからないので私たちは各車の乗客の状態を点検することに決めました。

最初の車の運転手が言いました。「私は2ブッシェル(1ブッシェルは8ガロン)のリンゴを私のトランクの中に持っています。どうぞ持てるだけ持って行って下さい」。この親切な申し入れを受入れて私たちは私たちのポケットと大きな紙袋を一ぱいにして私たちの任務を続行しました。各車の乗客との対話は大体次のようでした。「貴方はどれ程ガソリ

# 道 徒 の 聖

1958年3月17日  
 第3種郵便物認可第7巻第10号  
 振替口座 東京 76226 番

発行人 兼編集人 ダウエン・N・アンダーセン  
 発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会  
 北部極東伝道部  
 東京都港区麻布広尾町14

## 支 部 所 在 地

北海道 旭川	室蘭	小樽	札幌 札幌	群馬 群馬	甲府	松本	新潟 新潟	仙台 仙台	東京 中央	東京 中央	東京 北	東京 東	東京 南
旭川市八条五丁目 MIA集會場 旭川公会堂 電話(二一五四五)	室蘭市幸町八九 電話(七〇五四)	小樽市富岡町一ノ三五 電話(二一八二二四)	札幌市北二条西二四丁目	高崎市並榎町二七五 甲府市山田町六三 松本市同心町六一二	新潟市中大畑町五五七 電話(二一八六六〇)	仙台市光禪寺通り二八 電話(二五一〇八九七)	東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇八一三三〇七)	東京都豊島区高田本町二ノ一四八七 集會場 MIA 徳川生物研究所 日曜学校 武蔵野ドレメ	東京都江戸川区小岩町六七八〇 電話(六五七一五二三三)	東京都大田区南千束町二四九 電話(七二九一六三二一)			

東京 山形	横濱	西 中央 地方 部	阿倍野	福岡	廣島	金沢	京都 都	名古屋	西宮	岡	岡	三宮	柳井	沖繩 地方 部	那覇	建築部 事務所	東京 都 港 区
東京都港区青山北町六ノ三四 山形市七日町柳町一八 横濱市港北区篠原町二九 (電話四九一八七七二)	大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八 電話(六五一一八三二七)	福岡市西警固町三六一二 福岡市古田町古江四〇〇ノ三 (電話三六一二五)	金沢市上胡桃町一一 京都市左京区松ヶ崎桜木町一四 名古屋市昭和区北山町三ノ四一 電話(七三二四二一〇)	兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四 電話(五一〇一四一)	大阪府豊中市岡町北二ノ一八 電話(二一一二二六)	岡山市北方七〇	神戸市灘区篠原本町四ノ三五 電話(八六一二六〇二)	山口県柳井市今市三九一	沖繩宜野湾市野嵩区三二八 沖繩那覇市松尾区一三九	東京都港区青山北町六一三四(四〇二一四〇一〇)							